

# 地域社会保障教育推進事業 実施報告書

平成26年2月14日  
東京リーガルマインド



# 目次

1. 全体スケジュール .....	3
2. 委託事業実施状況報告	
(1) 実施体制 .....	4
(2) 学校の選定・調整過程 .....	5
(3) 社会保障教育プログラムの策定 .....	6
(4) 教材の作成・準備 .....	11
(5) 授業の実施 .....	13
(6) アンケートの集計結果 .....	21
3. 授業の実施結果の検証	
(3-1) 明蓬館高校 .....	39
(3-2) 荻窪高校 .....	41
(3-3) 新渡戸文化高校 .....	43
(3-4) ルネサンス高校 .....	45
4. 社会保障教育の全国展開・定着に向けた考察	
(1) 現状の課題 .....	47
(2) 提案 .....	47
5. 参考資料（担当教師オリジナル教材）	
(1) 荻窪高校 .....	51
(2) ルネサンス高校 .....	65

# 注釈

- ・社会保障を教える際に重点とすべき学習項目は、以下「重点項目」と記載する。
- ・ワークシート「社会保障の理念やあり方を考える」は、以下「理念やあり方」と記載する。
- ・ワークシート「身近な社会保障を学んでいく」は、以下「身近な社会保障」と記載する。
- ・年金教材『10個の「10分間講座」』は、以下「10分間クイズ」と記載する。
- ・DVD映像教材は、「DVD教材」と記載する。

# 1. 全体スケジュール

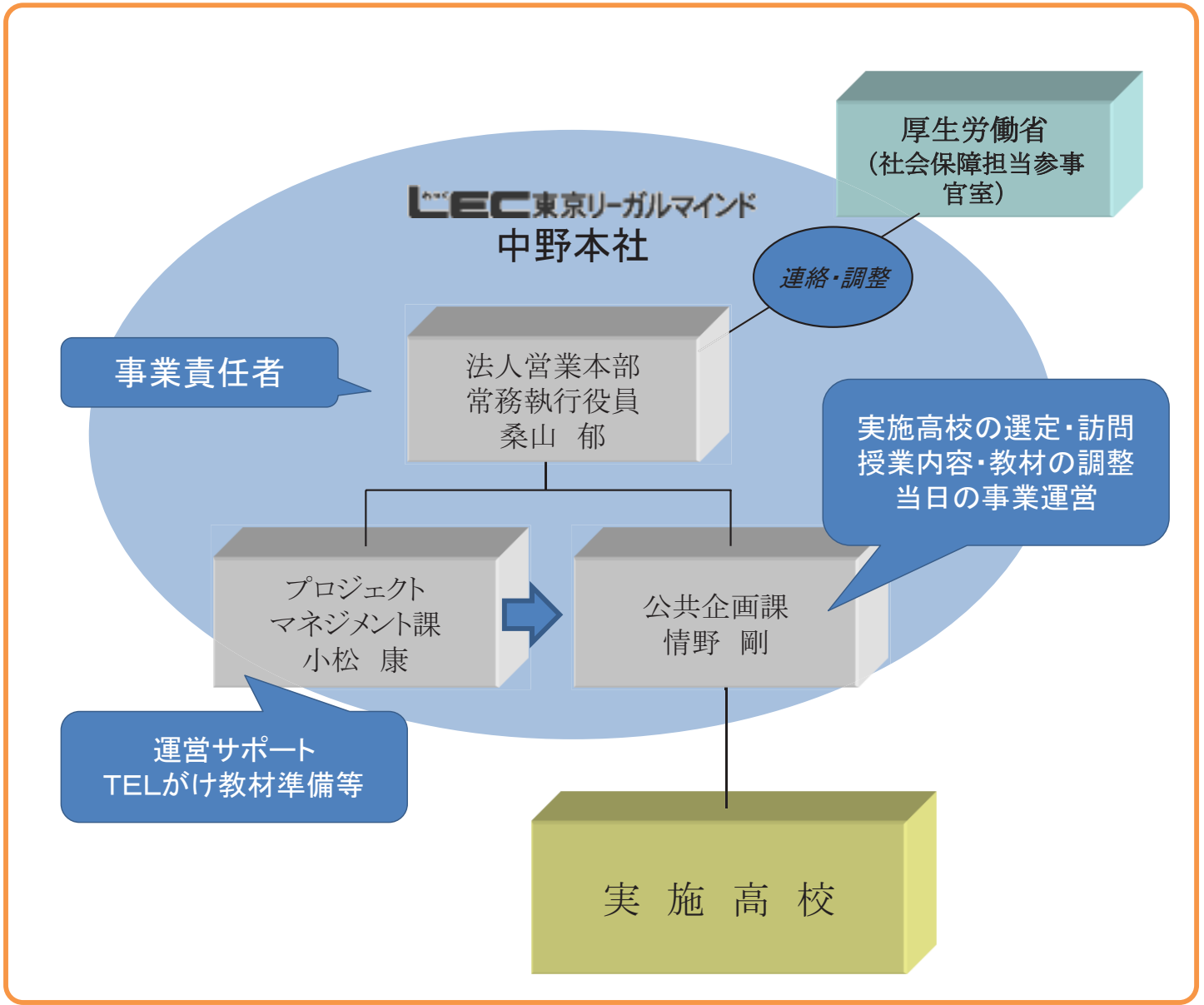
	実施校の選定	授業内容の調整	授業の実施
H25 8月	↑ 実施校選定 ↓		
9月			
10月		↑ プログラム策定 ↓	
11月	↑ 授業内容調整 ↓		
12月			↑ 教材作成 ↓
H26 1月			
2月			● 授業実施

## 2. 委託事業実施状況報告

### (1) 実施体制

①受託者  
株式会社 東京リーガルマインド

#### <体制図>



## ②授業の実施校

学校名 (所在地)	国 公 私	科	学年	人数	充当 教科	担当教諭・講師	実施日
明蓬館高校 (東京都品川区北 品川5-12-4 山泉 ビル2階教室)	私	普通 科	全 学 年	13 名	スクー リング	中村 直子 (地理公民科教諭)	平成26年1月10日
荻窪高校 (東京都杉並区荻 窪5-7-20)	公	普通 科	3	17 名	公民	大橋 裕子 (社会科教諭)	平成26年1月15日
新渡戸文化高校 (東京都中野区本 町6-38-1)	私	普通 科	1	23 名	現代 社会	片岡 鉄平 (高1学年主任)	平成26年1月29日
ルネサンス高校 (茨城県久慈郡大 子町浅川1253)	私	普通 科	全 学 年	34 名	スクー リング	中島 卓哉 (社会科教諭)	平成26年2月1日

## (2)学校の選定・調整過程

### ①当該学校の選定に至った経緯

#### (ア)明蓬館高等学校、ルネサンス高等学校

昨年度の社会保障教育推進事業を実施した高校で、本年度の「モデル授業」実施も引き続いて了承を得た。

#### (イ)荻窪高等学校、新渡戸文化高等学校

新規高校に実施の打診をした高校の中で、もともとキャリア教育に力を入れているなど地域社会保障教育に強い関心を寄せていただき、交渉の結果、実施の了承を得た。

### ②選定に当たり留意した点

昨年度の実績校(上記(ア))はいずれも通信制の高校で偏りがあるため、新規校の開拓にあたっては、一般的な私立高校、公立高校を対象として選定を行った。

### (3) 社会保障教育プログラムの策定

#### 3-1. 明蓬館高等学校

##### ①策定者

弊社が基本となるカリキュラム案を提示し、担当教諭と検討の上で実施カリキュラムを決定した。

##### ②どのような点を授業のねらいにしたか

生徒に社会保障の重要性を理解させ、身近な問題として「実感」させることをねらいとした。

「社会保障」は、一般的な高校生にとっては、やや内容が難しく、かつ、専門性も高いため、教諭による一方的な座学形式の授業では生徒の中に重要なテーマであるという認識や問題意識を醸成できず、通りすぎてしまうことが懸念された。

そこで、「グループワーク」を用いることによって、生徒が自ら主体的に考え、自らの生活との関連性をイメージさせ、社会保障の必要性や制度の仕組みに対する知識を強く印象付けることができると考えた。

なお、明蓬館高校以外の各校との授業実施の打診においても、同様に弊社のカリキュラムのコンセプトを伝え、グループワークにトライする方向で調整を進めた。

##### ③どの教材を採用したか(もしくは、どの教材を元に作成したか)

- ・ 身近な社会保障ワークシート
- ・ 理念やあり方ワークシート
- ・ DVD教材

##### ④プログラム策定に当たり留意した点

上記の通り、生徒の社会保障に対する理解を深めるために、「グループワーク」を導入することから、2時限の授業のうち、1時限目は導入による授業のテーマの理解と、DVDの視聴によって基礎的な知識を学ぶ「インプット」の時間と位置づけ、2時限目はグループワークを中心に生徒が主体的に考える「アウトプット」の時間となるようにカリキュラムを策定した。

##### ⑤参考資料等

特になし。



## 3-2. 荻窪高等学校

### ①策定者

弊社が作成した基本カリキュラム案(1時限50分で構成)をベースにしつつ、荻窪高校では授業時間が45分に短くなることから、座学時間を短縮した形のカリキュラム案を弊社から提示し、担当教諭と検討の上で、実施カリキュラムを決定した。

### ②どのような点を授業のねらいにしたか

明蓬館高校と同様に、生徒が主体的に考え、社会保障の重要性を「実感」するために、「グループワーク」を取り入れることを提案し、担当教諭の了承を得た。

### ③どの教材を採用したか(もしくは、どの教材を元に作成したか)

DVD教材を使用するほか、「身近な社会保障」ワークシート、「理念やあり方」ワークシート及び「10分間クイズ」の一部を元に、2時限内で授業が収まるように弊社で内容の加筆・修正を加え、パート1からパート4までの4部構成に再構成し、1冊の冊子にまとめた「荻窪高校版」の紙教材を作成して使用した。

具体的には、以下の加筆・修正を行った。

#### ・パート1

授業を担当する大橋教諭より、アイスブレイクとして「10分間クイズ」を授業の導入で使いたいという要請をもとに、全10個のうち5つをチョイスして挿入した。

#### ・パート2

DVD教材視聴後に、「身近な社会保障」ワークシートの中にある「ライフステージ」の項目を使って、社会保障の全体像を理解する構成とした。

#### ・パート3

グループワーク課題として「身近な社会保障」ワークシートの中にある「社会の一員として生きていくこと」の項目を使用した。生徒のグループワークをスムーズに進めるために、「一人ぐらしの家計のやりくり」については、あらかじめ3人の登場人物(教材の節約型、普通型、贅沢型に対応)の家計のシミュレーション結果を教材の中で提示し、急に治療費が必要になった場合にどうするかといった社会保障の必要性を実感する討論が円滑に進むよう工夫した。

#### ・パート4

「理念やあり方」を縦型から横型にレイアウトを変更して挿入した。「社会保障は誰が負担するのか？」のグループワークで、生徒が検討しやすくなるように、社会保障の負担主体であるF「家庭」、M「市場」、G「政府」の割合の検討の書き込み欄を設けた。

さらに、各ウェイトが大きくなることにより、自分自身にどのような影響が及ぶのか、ヒントを加えた。

#### ④プログラム策定に当たり留意した点

明蓬館高校と同様に、上記の通り、「グループワーク」によって生徒の理解を深めることを目的として、2時限の授業のうち、1時限目は導入により授業のテーマの理解と、DVDの視聴によって基礎的な知識を学ぶこととした。それをもとに2時限目をグループワークを中心に主体的に考える時間を設け、社会保障に対する理解を深める内容となるように留意した。

#### ⑤参考資料等

特になし。

### 3-3. 新渡戸文化高等学校

#### ①策定者

弊社が基本となるカリキュラム案を提示し、担当教諭と検討の上で実施カリキュラムを決定した。

#### ②どのような点を授業のねらいにしたか

他校と同様に、生徒の社会保障に対する理解を深め、重要性を「実感」させることを目的とし、そのために、「グループワーク」を取り入れることとした。

#### ③どの教材を採用したか(もしくは、どの教材を元に作成したか)

- ・「身近な社会保障」ワークシート
- ・「理念やあり方」ワークシート
- ・DVD教材

#### ④プログラム策定に当たり留意した点

他校と同様に、2時限の授業のうち、1時限目を導入とDVD視聴の視聴により基礎的な知識を学ぶ時間とし、それをもとに2時限目に「グループワーク」を取り入れて、生徒の理解を深める授業構成とした。

#### ⑤参考資料等

特になし。

### 3-4. ルネサンス高等学校

#### ①策定者

弊社が作成したカリキュラムをもとに、同校の授業を担当する中島教諭がカリキュラムを策定した。

#### ②どのような点を授業のねらいにしたか

他校同様に、生徒の社会保障に対する理解を深め、重要性を「実感」させることを目的とし、そのために、「グループワーク」を取り入れることとした。

#### ③どの教材を採用したか(もしくは、どの教材を元に作成したか)

DVD教材を使用したほか、荻窪高校用に作成した「荻窪高校版」の紙教材をもとに、中島教諭が自身のケガの体験などを授業の導入に加えた「ルネサンス高校版」を作成した。「10分間クイズ」は「ルネサンス高校版」からは取り除き、別冊として生徒全員に10個全てを配布した。

#### ④プログラム策定に当たり留意した点

他校と同様に、2時限の授業のうち、1時限目を導入とDVD視聴の視聴により基礎的な知識を学ぶ時間とし、それをもとに2時限目に「グループワーク」を取り入れて、生徒の理解を深める授業構成とした。

#### ⑤参考資料等

特になし。

#### (4)教材の作成・準備

①厚労省提供教材以外で使用した・取り入れた資料等があれば記載特になし。

#### ②作成・準備に当たり留意した点

各校での授業の実施を検討する際に、教諭の意見としては、「社会保障」というテーマは高校生にとっては難易度が高いことが懸念されていた。

また、弊社からの提案により、各校とも「身近な社会保障」ワークシートと「理念やあり方」ワークシートの2つの教材を利用し、かつDVD教材も使用することとしたため、カリキュラムがタイトなスケジュールになるという指摘があった。

そこで、荻窪高校とルネサンス高校では「身近な社会保障」ワークシートと「理念やあり方ワークシート」を授業の進行にあわせて再構成したオリジナル版を作成するとともに、座学で使用するページの空欄箇所はあらかじめすべて答えを補充しておき、授業がスムーズに進行するように配慮した。

また、生徒の理解と実感を深めるために「グループワーク」については、2つの課題を設定することとした。

1つは、「身近な社会保障」ワークシートから、「家計」における税金・健康保険料等の負担と保険に加入していない場合のリスクを検討するものとした。なお、家計の負担状況については、あらかじめ計算結果を記載することとして、生徒の理解を助ける内容とした。

もう1つは、「理念やあり方」ワークシートから、3つの経済主体(家族、市場、政府)のうち、どのようなバランスで福祉ニーズを支えるべきかを検討課題とした。正解のないテーマであるため、高校生には難しい内容とも思えるが、それぞれの経済主体の負担が大きくなると自分自身にどのような影響があるかヒントを教材に書き加えることで生徒の理解を助け、実生活や自身の将来像に照らしてどのようなバランスが良いか考えやすくなるように工夫し、授業がスムーズに進むように配慮した。

他方、明蓬館高校及び新渡戸文化高校では、「身近な社会保障」ワークシートと「理念やあり方」ワークシートを原版のまま生徒に配布することとしたが、教諭の体験などの話を授業の中で適宜挿入して生徒の理解を助けるように授業を展開することで、テーマの難しさを克服することとした。

### ③作成・準備に当たり要した時間

#### ・明蓬館高校

2時限の授業のために、6時間程度の準備時間を要した。

通常、同校の教諭が授業の準備に要する時間は、1時限の授業に対して2～3時間の準備をしているが、今回のモデル授業に対しては、初めての授業内容であること、通常は行わない「グループワーク」を導入したこと、また授業のスケジュールもタイトになることから、教諭がシミュレーション授業を実施するなどの準備を行ったため、通常時よりも多くの準備時間を要した。

#### ・荻窪高校

2時限の授業のために、3時間程度の授業準備時間を要した。

通常の授業の準備に要する時間は、1時限の授業に対して1時間程度だが、特にグループワークの進行方法、グループワーク課題の内容の精査などのために、通常時よりも多くの準備時間を要した。

#### ・新渡戸文化高校

2時限の授業のために、5時間程度の授業準備時間を要した。

通常の授業の準備に要する時間は、1時限の授業に対して1時間程度の準備を要するところ、今回のモデル授業に対しては、授業の際に挿入する具体的事例の検討、通しの授業シミュレーションを実施し、通常時よりも多くの準備時間を要した。

#### ・ルネサンス高校

2時限の授業のために、8時間程度の準備時間を要した。

通常の授業の準備に要する時間は、1時限の授業に対して1～2時間の準備を要するところ、今回のモデル授業に対しては、自ら教材の作成(一部変更)を行い、かつ、カリキュラムのスケジュールも詳細に検討したため、8時間程度の準備時間を要した。

## (5) 授業の実施

### ① 明蓬館高等学校(私立)

- (1)所在地 : 東京都品川区北品川5-12-4 山泉ビル2階  
 (2)受講生徒 : 単位制普通科 11名  
 (3)充当教科 : 現代社会(スクーリング)  
 (4)社会保障関連の授業の学習状況  
 1年次に現代社会のなかで2時限を使って社会保障の概要を授業している。

### 1 限目

- (1)日時  
平成26年1月10日(金) 13:10~14:00  
 (2)講師  
中村 直子(地理公民科教諭)  
 (3)目的(ねらい)等  
公的医療保険、年金の仕組みの基本を理解する。  
 (4)使用教材  
①DVD教材  
②身近な社会保障  
 (5)内容

展開	内容	使用教材
2分	オリエンテーション ・授業の進め方、社会保障の2大テーマの提示(公的医療保険、年金)	
25分	DVD教材の視聴	DVD教材
13分	・DVD教材の振り返り(生徒を指して質問、老後にしたいことなど) ・1ページ目「社会の一員として生きていくこと」の(1)「家計のやりくり」について各生徒で取組むように指導する。節約型、普通型、贅沢型のどれを選ぶか考えさせた。 ・教諭が各生徒の机を回り、生徒の意見や質問を聞きながらアドバイスを行った。 ・上記3パターンの家計の結果を示し、生徒の選択をヒアリングした。 ・続いて(2)、(3)についても考えさせ、生徒を指しながら答えさせ、アドバイスを行った。	「身近な社会保障」
10分	・2ページ目「わたしたちの生活と社会保障」の解説を行った。 ・3ページ目「ライフサイクルでみた社会保障の給付と負担のイメージ」の構造について、生徒を指しながら給付と負担の関係を解説した。 ・4ページ目「高校生として必ずおさえておきたい“年金の基礎知識”」の国が集めた年金の配分の流れについて解説した。さらに、教諭の体験も踏まえ、年金等を払い始めるタイミング、猶予・免除制度と制度を利用した場合の給付の関係を補足した。	「身近な社会保障」

## 2限目

- (1)日時  
平成26年1月10日(金) 14:10~15:00
- (2)講師  
中村 直子(地理公民科教諭)
- (3)目的(ねらい・テーマ)等  
グループワークを通して社会保障のあり方、必要性を理解する。
- (4)使用教材  
①身近な社会保障  
②理念とあり方

### (5)内容

展開	内 容	使用教材
4分	・5ページ目「公的年金のメリット」について、将来の物価上昇などのリスクにも対応できることなど、預金との違いを解説した。	「身近な社会保障」
14分	・1ページ目「『社会保障』に関する“高校生クイズ”」をもとに、生徒を指して、Q1、Q2に答えさせた。健康保険が3割負担であることなど重要なポイントを解説した。 ・給付と負担のバランスについて、板書をしながら各ポジションがどういう意味があるのか解説したのち、各チーム(男子チーム、女子チームの2チーム)でグループワークによりどのような仕組みが望ましいか検討させた。両チームの代表が検討結果を板書して発表した(男子チームは意見がまとまらず、全員の考えを発表した)。 ・各チームより、なぜそのような選択をしたか理由を発表した。	「理念やあり方」 ※グループワーク
16分	・2ページ目「『社会保障制度』を整理してみよう。」冒頭の空欄部分について、生徒を指しながら進めた。さらに社会保障制度を支える主体(政府、国民、市場)の関係の概要を解説した。 ・3ページ目「日本の税金や社会保険料は高い?低い?」について、グラフから読み取れる内容を解説し、国際比較における日本の位置・他国との違いを、板書をしながら解説した。	「理念やあり方」
24分	・4ページ目「「社会保障制度」…国によって様々なパターンがある。」について、板書をしながら解説し、後段の「あなたの考えは?」についてグループで検討させ、両チームの結論を発表した。 ・各チームより、なぜそのような選択をしたか理由を発表した。 ・教諭より全体の講評、今後も考えていくことの重要性について解説した。	「理念やあり方」 ※グループワーク
2分	アンケートの記入を行って終了した。	



## ② 荻窪高等学校(公立)

(1)所在地 : 東京都杉並区荻窪5-7-20

(2)受講生徒 : 普通科(Ⅱ部) 17名

(3)充当教科 : 特別授業

(4)社会保障関連の授業の学習状況

本件「モデル授業」のほか、3年生に年金の仕組みについて授業を行っている。

※同校は、Ⅰ部(朝～昼)、Ⅱ部(昼～夕方)、Ⅲ部(夕方～夜)の「三部制」を採用しており、本授業はⅡ部の3年生を対象に、特別に早い時間帯に授業時間を設定して実施された。

### 1 限目

(1)日時

平成26年1月15日(水) 10:30～11:15

(2)講師

大橋 裕子(社会科教諭)

(3)目的(ねらい)等

社会保障制度の概要を理解する。

(4)使用教材

①DVD教材

②荻窪高校版紙教材(パート1、パート2)

(5)内容

展開	内容	使用教材
7分	・出欠をとる。 ・オリエンテーション(授業内容の概要、進め方(グループワーク)の告知) ・事前アンケートの実施 ・紙教材の配布	
12分	・「10分間クイズ」を使いながら、現在の統計的な社会背景を解説し、先生の経験を織り交ぜてアイスブレイクを行った。	「荻窪高校版教材」パート1
25分	・DVD教材の視聴	「荻窪高校版教材」パート2
1分	・DVD教材の簡単な振り返り。 ・グループ討論の準備(休み時間)	DVD教材

## 2限目

- (1)日時  
平成26年1月15日(水) 11:20~12:05
- (2)講師  
大橋 裕子(社会科教諭)
- (3)目的(ねらい・テーマ)等  
グループ討論を通して、社会保障に加入する意味、制度のあり方を理解する。
- (4)使用教材  
①荻窪高校版紙教材(パート3、パート4)
- (5)内容

展開	内容	使用教材
5分	・机の位置変え ・2時限目の出欠	
11分	・「わたしたちの生活と社会保障」の図を用いて、生涯と様々な社会保障との関係、それぞれの保険の役割について解説をした。 ・「ライフサイクルでみた社会保障の給付と負担のイメージ」について簡単に解説し、さらに、「高校生として必ずおさえておきたい“公的年金のメリット”」のページを使って、預金と年金の違いを解説した。	「荻窪高校版教材」 パート2
13分	・「就職後の生活と社会保障」として、節約型(A君)、普通型(Bさん)、贅沢型(C君:アルバイト)の家計の状況を比較して、違いを把握させた。 ・(1)急に必要になった入院費をどのように支払うか、参加生徒全員で意見を出し合い、その上で、どのような違いが生じるか教諭より解説した。 ・(2)会社が倒産してしまった場合にどうしたらよいか、参加生徒全員で意見を出し合い、その上で、「失業保険」がどのような制度か、教諭より制度概要を解説した。	「荻窪高校版教材」 パート4 ※グループワーク
10分	・社会保障を支える3つの主体(政府(G)、市場(M)、家族(F))の役割について解説した。 ・その上で、どのような社会保障のあり方がよいか(負担の高低、サービスの高低)について全員で討論した。 ・次ページのグラフを使いながら、低負担・高サービスを選択した場合、どのような社会になるか、教諭より解説した。	「荻窪高校版教材」 パート4
6分	・政府(G)、市場(M)、家族(F)のうちどのようなバランスで社会保障の負担がなされるべきか、米国、スウェーデン、日本の違いを解説した上で、生徒各自に検討させた。 ・その上で、教諭が検討し終わった生徒の検討結果を板書しながら、教諭がどのような意味があるか解説した。	「荻窪高校版教材」 パート4 ※グループワーク

### ③新渡戸文化高等学校(私立)

- (1)所在地 : 東京都中野区本町6-38-1
- (2)受講生徒 : 普通科 23名
- (3)充当教科 : 現代社会
- (4)社会保障関連の授業の学習状況  
トピックとして新聞記事などを引用し、生徒に解説する程度(例:年金問題など)

### 1 限目

- (1)日時  
平成26年1月29日(水) 9:30~10:20
- (2)講師  
片岡 鉄平(高1学年主任 社会科教諭)
- (3)目的(ねらい)等  
社会保障制度の仕組み・重要性を理解する。
- (4)使用教材  
①DVD教材  
②身近な社会保障
- (5)内容

展開	内容	使用教材
7分	・事前アンケート記入 ・オリエンテーション(社会保障の概要、社会保障を知ることの重要性)	
25分	・DVD教材の視聴	DVD教材
13分	・DVD教材の振り返り、生徒にDVDの内容について知っていたことがあるか問いかけを行った。 ・1ページ目「社会の一員として生きていくこと」において、そのために、家計の中で税・社会保障がどのくらいの割合になるか、負担の大きさのイメージを教諭自身を事例として解説した。 ・1ページ目(2)の問いについて、生徒に問いかけて、入院した場合の大きな支出についてどうしたらよいか答えさせた。その上で、社会保障の必要性を説明した。	「身近な社会保障」

## 2限目

- (1)日時  
平成26年1月29日(水) 10:20~11:20
- (2)講師  
片岡 鉄平(高1学年主任 社会科教諭)
- (3)目的(ねらい・テーマ)等  
社会保障制度の仕組み・重要性を理解する。
- (4)使用教材  
①DVD教材  
②身近な社会保障
- (5)内容

展開	内容	使用教材
21分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1ページ目(2)の問いについて、3割負担、高額医療保険制度について解説した。</li> <li>・2ページ目、「わたしたちの生活と社会保障」において、各空欄にどのような制度が入るかを説明し、それぞれどのような目的の制度か具体例を用いながら説明した。</li> <li>・3ページ目、「ライフサイクルでみた社会保障の給付と負担のイメージ」において、給付と負担の関係、猶予制度を解説する。当時自分自身が猶予制度を知らなかったことを事例として取り上げ、制度理解の必要性を解説した。</li> <li>・4ページ目、「高校生として必ずおさえておきたい“年金の基礎知識”」において、預金と年金の違いを解説した。</li> <li>・5ページ目、「高校生として必ずおさえておきたい“公的年金のメリット”」において、年金制度は、物価の変動により貨幣価値が下がることに対応する点が貯金と異なることを解説した。</li> </ul>	「身近な社会保障」
18分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1ページ目、「『社会保障』に関する“高校生クイズ”」において、Q1を生徒を指しながら考えさせた。その上で、なぜそのような答えになるのかを解説した。Q2は回答を示して簡単に解説した。</li> <li>・同ページの「あなたが望ましいと考える「社会保障制度とは？」」においては、生徒間で簡単に意見交換し合いながら検討させ、検討結果を生徒に発表させた。どのような理由で選択したのかを答えさせ、それぞれのポジションがどのような意味があるのか教諭より解説した。</li> <li>・2ページ目、「『社会保障制度』を整理してみよう。」において税金が貧富の差を是正する機能を果たしていることを解説した。中国の社会保障制度を例にして、国民皆保険でない場合のデメリットを説明した。</li> </ul>	「理念やあり方」
8分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ページ目、「日本の税金や社会保険料は高い？低い？」において、北欧とアメリカの比較のもとに、国民の負担率の違いを解説した。</li> <li>・4ページ目、「『社会保障制度』…国によって様々なパターンがある。」において、3ページの解説を踏まえてそれぞれのパターンがどれに当てはまるか解説し、「あなたの考えは？」について各自検討させた。</li> </ul>	「理念やあり方」

#### ④ ルネサンス高等学校(私立)

- (1)所在地 : 茨城県久慈郡大子町浅川1253
- (2)受講生徒 : 普通科 34名
- (3)充当教科 : スクーリング
- (4)社会保障関連の授業の学習状況  
現代社会のなかで簡単に触れた程度。

#### 1 限目

- (1)日時  
平成26年2月1日(土) 16:00~17:00
- (2)講師  
中島 卓哉(社会科教諭)
- (3)目的(ねらい)等  
導入・DVD教材の視聴により社会保障制度の基礎を理解する。
- (4)使用教材
  - ①DVD教材
  - ②ルネサンス高校版教材
  - ③10分間クイズ
- (5)内容

展開	内容	使用教材
20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「もしも」の経済的負担について教諭自身の体験や統計資料からイメージする。教諭のアキレス腱断裂の経験を例に、急な出費の経済的負担の大きさを実感する。</li> <li>・「これから」の経済的負担について統計資料からイメージする。統計に基づく老後の最低生活費を例に、老後の生活費の負担の大きさを実感する。</li> <li>・今回授業の課題である「あなたの『もしも』と『これから』は大丈夫？」を提示する。生徒が「大丈夫」と思うか、「不安」と思うか問いかけて挙手させる。</li> <li>・「もしも」や「これから」の負担を軽減するためにわが国にはどのような制度があるかを問いかけ、「社会保障」の答えを導き出す。</li> </ul>	ルネサンス高校版教材 P1~P5
8分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「10分間クイズ」を用いて、社会保障に関連するクイズにより、わが国の状況と社会保障の基礎知識を知る。</li> </ul>	「10分間クイズ」
30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVD教材の視聴</li> <li>※機材のトラブルにより放映まで5分程度かかった。</li> </ul>	DVD教材

## 2限目

- (1)日時  
平成26年2月1日(土) 17:05～17:30
- (2)講師  
中島 卓哉(社会科教諭)
- (3)目的(ねらい・テーマ)等  
グループワークを通して、身近な生活に関わる社会保障制度を実感する。
- (4)使用教材  
①ルネサンス高校版教材
- (5)内容

展開	内 容	使用教材
15分	・「就職後の生活と社会保障」について話し合いをする。 ・各グループの代表者に回答と対処策について発表させる。	ルネサンス高校 版教材 P13～16 ※グループワー ク
4分	・わが国の社会保障制度の負担状況について説明する。国際比較においてはそれほど国民負担率は「高く」はないことを解説する。	ルネサンス高校 版教材 P19～20
4分	・「社会保障はだれが負担するのか？」について、アメリカ型、スウェーデン型、日本型の違いを解説した上で生徒同士のグループワークで検討する。 ・各グループの代表者に検討結果について、挙手により発表させる。	ルネサンス高校 版教材 P21～22 ※グループワー ク
2分	・「保険」の持つ意味について確認し、まとめの話をする。 ・アンケートに記入させる。	ルネサンス高校 版教材 P23～24

## (6) アンケートの集計結果

### ① 生徒用(計85名)

#### ・5段階評価－全体

質問項目		良い	やや良い	普通	あまり良くない	良くない	無記入
生徒	【実施前-1】社会保障制度に対してどのようなイメージを持っていますか？	2	15	67	20	1	3
	【実施後-1】社会保障制度に対してどのようなイメージを持っていますか？	12	38	48	7	0	3
		高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無記入
	【実施前-2】社会保障制度に対する関心はどのくらいですか？	4	9	59	19	14	3
	【実施後-2】社会保障制度に対する関心はどのくらいですか？	13	49	41	0	2	3
		わかりやすかった	ややわかりやすかった	普通	ややわかりにくかった	わかりにくかった	無記入
	【実施後-3】今回の授業で使った社会保障教育の教材はわかりやすかったですか？	28	37	36	1	2	4
		そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそうは思わない	そう思わない	無記入
【実施後-4】今後も、このような社会保障に関する学習に取り組みたいと思いますか？	28	46	25	3	2	4	

### ② 教諭用(計5名)

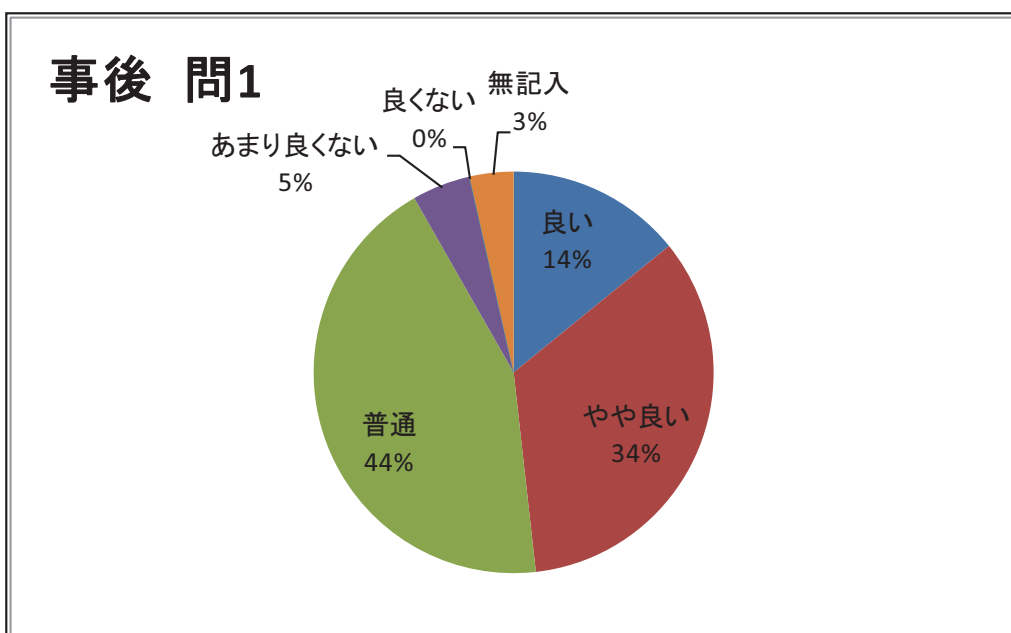
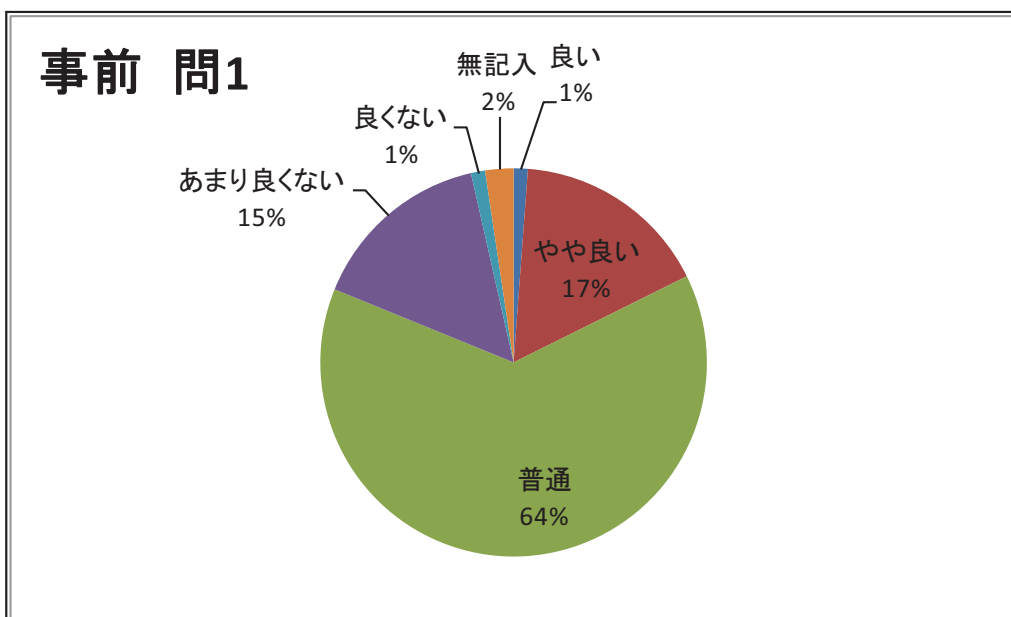
#### ・5段階評価－全体

質問項目		高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無記入
教諭	【1-(1)】授業実施前の生徒の関心の度合いはどうか	0	0	1	3	1	0
	【1-(2)】授業実施後の生徒の関心の度合いはどうか	0	2	2	0	0	1
		高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無記入
	【1-(3)】授業実施前のご自身の社会保険への関心の度合いはどうか	2	2	1	0	0	0
	【1-(4)】授業実施後のご自身の社会保険への関心の度合いはどうか	3	2	0	0	0	0
		わかりやすかった	ややわかりやすかった	普通	ややわかりにくかった	わかりにくかった	無記入
	【2-(1)】今回の授業で使った社会保障教育の教材はわかりやすかったですか？	2	0	1	2	0	0

## (ア) 社会保障のイメージについて

今回のモデル授業では、授業の開始前に記入する「事前アンケート」と、授業の最後に記入する「事後アンケート」を用意して、モデル授業の効果を測定した。

まず、生徒の「社会保障のイメージ」については、「事前」では「良い」・「やや良い」という肯定的な回答は、全体の17.6%(85人中15人)であったが、「事後」では48.2%(41人)となり、モデル授業を通して社会保障の消極的なイメージが払拭され、安心して暮らすために「必要な制度」として認知させる効果があったと思われる。





## (イ) 社会保障に対する関心度

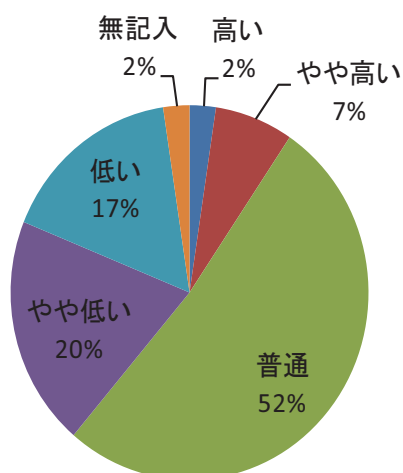
次に、社会保障に対する関心度については、「事前」では「高い」・「やや高い」という回答は、わずか9.4%(8人)であったが、「事後」では55.3%(47人)と飛躍的に増加する結果となった。高校生にとっても身近な生活との関係を示し、制度の仕組みや課題を学ぶことで、社会保障に対する関心を喚起できることがわかる結果となった。

特に、「事前」では、「やや低い」・「低い」という回答が36.5%(31人)と多かったが、「事後」では2.4%(2人)に減少しており、全体的に関心を高めることに成功している。

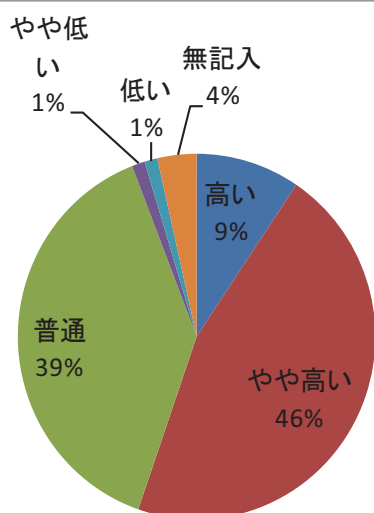
また、教諭に対するアンケートでは、教諭自身の社会保障に対する関心は事前・事後ともに高いものの、生徒の関心度に関しては、モデル授業実施前は5人中3人が「やや低い」、1人が「低い」と答えていた。

しかし、実施後は3人が「やや高い」と回答しており、指導教諭の実感としても生徒の関心が高まったと評価しており、生徒の関心を高める上で一定の効果を実感していることがうかがえる。

### 事前 問2



### 事後 問2

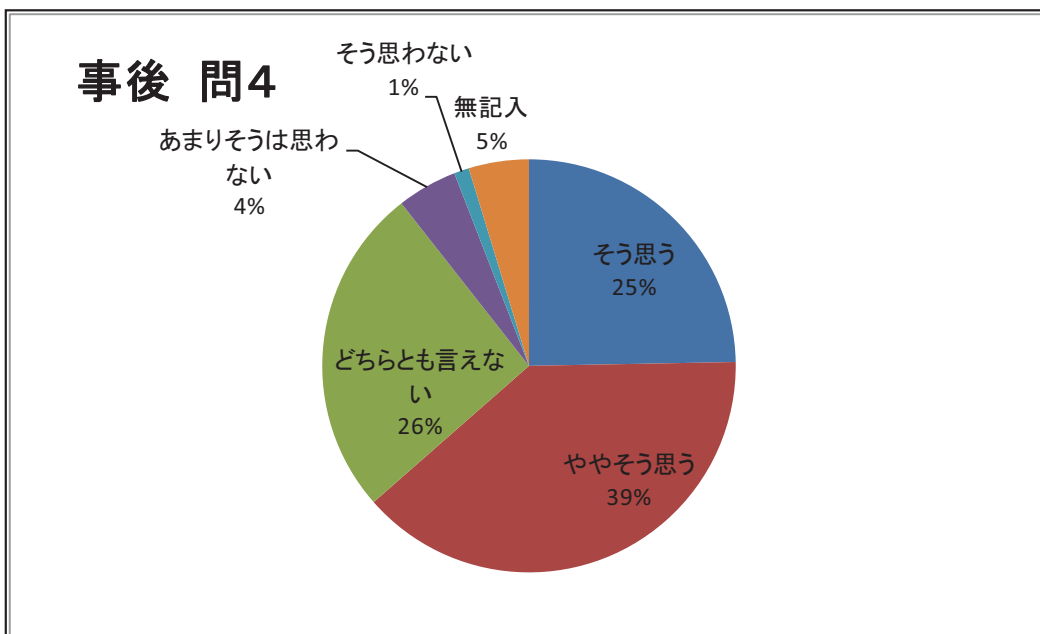


### (ウ) 今後の社会保障への学習意欲

事後アンケート問4の「今後も、このような社会保障に関する学習に取り組むたいと思いますか？」との問いに対しては、51.7%(44人)の生徒が、「そう思う」・「ややそう思う」と回答した。

事前アンケートにおける社会保障のイメージ、関心度から比較すると、多くの生徒が社会保障についてより深い知識と理解を求める姿勢に変化したことがうかがえる。

高校生の段階で社会保障について一定の知識を習得させ、大学生や社会人になった後も継続的に関心を持たせ、より深く理解をさせるための「導入学習」としては、一定の効果があったと思われる。



③明蓬館高校 集計結果(生徒・教諭 5段階評価)

質問項目		良い	やや良い	普通	あまり良くない	良くない	無記入
生徒	【実施前-1】社会保障制度に対してどのようなイメージを持っていますか？	0	4	5	2	0	0
	【実施後-1】社会保障制度に対してどのようなイメージを持っていますか？	4	3	4	0	0	0
		高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無記入
	【実施前-2】社会保障制度に対する関心はどのくらいですか？	0	0	6	2	3	0
	【実施後-2】社会保障制度に対する関心はどのくらいですか？	1	5	4	1	0	0
		わかりやすかった	ややわかりやすかった	普通	ややわかりにくかった	わかりにくかった	無記入
	【実施後-3】今回の授業で使った社会保障教育の教材はわかりやすかったですか？	5	5	0	1	0	0
		そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそうは思わない	そう思わない	無記入
【実施後-4】今後も、このような社会保障に関する学習に取り組みたいですとおもいますか？	4	3	3	1	0	0	

質問項目		高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無記入
教諭	【1-(1)】授業実施前の生徒の関心の度合いはどうでしたか	0	0	0	2	0	0
	【1-(2)】授業実施後の生徒の関心の度合いはどうでしたか	0	1	1	0	0	0
		高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無記入
	【1-(3)】授業実施前のご自身の社会保障への関心の度合いはどうでしたか	0	1	1	0	0	0
	【1-(4)】授業実施後のご自身の社会保障への関心の度合いはどうでしたか	0	2	0	0	0	0
		わかりやすかった	ややわかりやすかった	普通	ややわかりにくかった	わかりにくかった	無記入
	【2-(1)】今回の授業で使った社会保障教育の教材はわかりやすかったですか？	1	0	0	1	0	0

#### ④明蓬館高校 集計結果(生徒 自由記載)

生徒 【実施前-3】

社会保障のことで知っていることを教えてください。どのようなことでもよいです。

- ・保険制度
- ・日本で住み働くための保障
- ・年金や健康の保障
- ・生保、各種保険
- ・知らない、無記入。7名

生徒 【実施後-5】

今回の授業の良かった点や悪かった点、授業全体の感想、社会保障全般についてどう思うかを教えてください。

☆良かった点

- ・年金については分りやすかった。
- ・とても分りやすかった。3名
- ・社会保障や年金について知ることができた。
- ・知らないことを教えてくれたこと。
- ・今まであまり考えなかったことを考えることができた。
- ・復習になった。
- ・ビデオ教材がとても分りやすかった。
- ・具体的だったし、自分で考えるようにプリントができていた。
- ・特になし、無記入。1名

☆悪かった点

- ・問題がもう少し多くても良かったと思う。
- ・教材のDVDがとても失礼。
- ・VTRが分かりづらかったこと。
- ・国によってどのようなサービスがあるのかなどが知りたかった。
- ・特になし、無記入。6名

生徒 ☆授業全体の感想

- ・難しかった。
- ・知らなかったことを知ることができて良かった。2名
- ・ニュースなどで理解できなかったところが分かって良かった。
- ・あまり関心を持ってなかったのがためになった。
- ・知らなかったこともあったので、日本で生きていく中でこういう授業を受けられてとても良かった。
- ・もう少し細かい内容まで考えることができたらよかった。
- ・去年授業を受けたが忘れていたところがあったので、復習をすることができてとても良かった。
- ・社会保障は必要であると思った。
- ・特になし、無記入。2名

☆社会保障全般について

- ・もっと詳しく知りたいと思った。
- ・悪くないと思った。
- ・年金の構造によって不正受給されやすい。
- ・自分にとって遠いものじゃないんだなと思った。
- ・前よりも知れました。
- ・これからも続けてもらいたい。
- ・日本も偏っているところがあるので若い人たちの力で少しずつ変えていきたい。
- ・年金や健康保険などの制度は知っていたが、年金制度+健康保険制度＝社会保障という、根本的なことが分かりました。
- ・今後も改善していく必要を感じた。
- ・アメリカは医療費が払えずに自己破綻している人が多い様に、なんでもかんでもアメリカ式の、自由主義、競争主義ではなく、今こそ日本本来の文化を取り戻すべきと思った。日本の社会保障に例をとるように日本が誇れる物はたくさんあるし、グローバルだ何だと言うが、日本がグローバルスタンダードになることだってあると思った。
- ・特になし、無記入。1名

## ⑤明蓬館高校 集計結果(教諭 自由記載)

教諭【1-(5)】そのほか今回の授業を行ってお気づきになられた点を自由にお書きください。

### ①良かった点

- ・概略についてはきちんと話すことができ、ワークの時間も取れた。
- ・ワークの時間も取れた。意見を出しやすいワークグループ課題だった。

### ②改善すべき点

- ・内容をつめこみすぎて(これでもだいぶ省いたが)、理解できているのか不明。確認テスト等あればよい。
- ・時間が足りず、もう少し内容を深められるとよかった。

### ③社会保障全般について

- ・授業でなかなか時間を作れない内容だったので、助かった。
- ・制度の存在さえ知らない生徒もこの授業で「そういうものがあるのか」と知ってくれたと思う。世界の社会保障制度について、調べさせるといいと思った。

【2-(2)】今回の教材について良い点をご自由にお書きください。

- ・情報が多く、見やすい、映像教材がある。
- ・ビデオ教材はイメージしやすく良かった、が少々長い。

【2-(3)】今回の教材について不足している点をご自由にお書きください。

- ・1ページに対して、情報を詰め込みすぎており、見づらい(うちの生徒にとっては)。
- ・映像が少し長い。

【2-(4)】『10個の「10分講座」』についてよいと思う点をご自由にお書きください。

- ・クイズ内容も面白く、きちんとした情報の根拠もあり、とても良いと思う。
- ・10分では終らない程の濃い内容。現実味を帯びている。

【2-(4)】『10個の「10分講座」』について不足している点・改善点があればご自由にお書きください。

- ・どのタイミングでこれを行うか、限られた時間数と環境で、有効に活用できるよう工夫したい。
- ・情報量が多く、やや見づらい。

⑥荻窪高校 集計結果(生徒・教諭 5段階評価)

質問項目		良い	やや良い	普通	あまり良くない	良くない	無記入
生徒	【実施前-1】社会保障制度に対してどのようなイメージを持っていますか？	0	3	11	1	1	1
	【実施後-1】社会保障制度に対してどのようなイメージを持っていますか？	3	4	8	1	0	1
		高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無記入
	【実施前-2】社会保障制度に対する関心はどのくらいですか？	0	1	7	5	3	1
	【実施後-2】社会保障制度に対する関心はどのくらいですか？	1	11	4	0	0	1
		わかりやすかった	ややわかりやすかった	普通	ややわかりにくかった	わかりにくかった	無記入
	【実施後-3】今回の授業で使った社会保障教育の教材はわかりやすかったですか？	7	5	3	0	0	2
		そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそうは思わない	そう思わない	無記入
【実施後-4】今後も、このような社会保障に関する学習に取り組みたいとおもいますか？	4	6	3	2	0	2	

質問項目		高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無記入
教諭	【1-(1)】授業実施前の生徒の関心の度合いはどうでしたか	0	0	0	0	1	0
	【1-(2)】授業実施後の生徒の関心の度合いはどうでしたか	0	0	0	0	0	1
		高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無記入
	【1-(3)】授業実施前のご自身の社会保障への関心の度合いはどうでしたか	1	0	0	0	0	0
	【1-(4)】授業実施後のご自身の社会保障への関心の度合いはどうでしたか	1	0	0	0	0	0
		わかりやすかった	ややわかりやすかった	普通	ややわかりにくかった	わかりにくかった	無記入
	【2-(1)】今回の授業で使った社会保障教育の教材はわかりやすかったですか？	0	0	0	1	0	0

## ⑦荻窪高校 集計結果(生徒 自由記載)

生徒 【実施前-3】

社会保障のことで知っていることを教えてください。どのようなことでもよいです。

- ・失業手当
- ・福祉とか？
- ・自分の未来を支えてくれる
- ・税のことに関係している
- ・よく悪用される、お金をだましとられてる。
- ・年金
- ・知らない+無記入。11名

生徒 【実施後-5】

今回の授業の良かった点や悪かった点、授業全体の感想、社会保障全般についてどう思うかを教えて下さい。

☆良かった点

- ・資料が見やすい
- ・DVDの説明が分かりやすかった。
- ・わかりやすかった。
- ・教材がわかりやすかったし、内容が面白かった。
- ・プリント中に表やグラフがあってわかりやすかった。
- ・保険の内容を理解できた。
- ・特になし+無記入。8名

☆悪かった点

- ・問題が少ない
- ・眠い。
- ・特になし。
- ・話し合いがあまり盛り上がらなかった。
- ・特になし+無記入。13名

☆授業全体の感想

- ・良い感じ
- ・テンション高くて疲れた。
- ・授業の内容は分かりやすかった。
- ・いい勉強になりました。
- ・知らないことが知れてよかった。
- ・社会保障とか普段考えないし、知ろうとも思わなかったからためになった。
- ・いろいろな意見があり、興味深かった。
- ・たのしかった
- ・またやりたい。
- ・みんなで考えて学習できたのが面白かった。
- ・おもしろかった、この内容だと自分の意見が書ける。
- ・社会保障についての話が聞けてよかった。
- ・特になし+無記入。4名

☆社会保障全般について

- ・分かりやすい
- ・税金減らしてしまう。
- ・今のままではダメだと思うし、いつかズレがでてくる。
- ・大事だなと思った。
- ・いいと思う。
- ・税金を払うことは大切だと思った。年金をもらうのが楽しみだ。
- ・決して毎月払うお金が安いわけではなけれど、保険のことを考えてみようと思いました。
- ・よくなっている。
- ・特になし+無記入。8名

## ⑧荻窪高校 集計結果(教諭 自由記載)

教諭 【1-(5)】そのほか今回の授業を行ってお気づきになられた点を自由にお書きください。

### ①良かった点

・DVDが良くまとまっている。

### ②改善すべき点

・DVDのワークシートがあった方がよい。

### ③社会保障全般について

・少しワークが難しいと思う。

【2-(2)】今回の教材について良い点をご自由にお書きください。

・DVDがとても良い。

【2-(3)】今回の教材について不足している点をご自由にお書きください。

・ワークが難しい内容。

【2-(4)】『10個の「10分講座」』についてよいと思う点をご自由にお書きください。

・良い

【2-(4)】『10個の「10分講座」』について不足している点・改善点があればご自由にお書きください。

・特になし



⑨新渡戸文化高校 集計結果(生徒・教諭 5段階評価)

質問項目		良い	やや良い	普通	あまり良くない	良くない	無記入
生徒	【実施前-1】社会保障制度に対してどのようなイメージを持っていますか？	0	2	20	1	0	0
	【実施後-1】社会保障制度に対してどのようなイメージを持っていますか？	1	10	10	0	0	2
		高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無記入
	【実施前-2】社会保障制度に対する関心はどのくらいですか？	0	2	10	6	5	0
	【実施後-2】社会保障制度に対する関心はどのくらいですか？	0	8	13	0	0	2
		わかりやすかった	ややわかりやすかった	普通	ややわかりにくかった	わかりにくかった	無記入
	【実施後-3】今回の授業で使った社会保障教育の教材はわかりやすかったですか？	1	6	13	1	0	2
		そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそうは思わない	そう思わない	無記入
【実施後-4】今後も、このような社会保障に関する学習に取り組みたいとおもいますか？	2	8	10	1	0	2	

質問項目		高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無記入
教諭	【1-(1)】授業実施前の生徒の関心の度合いはどうでしたか	0	0	1	0	0	0
	【1-(2)】授業実施後の生徒の関心の度合いはどうでしたか	0	1	0	0	0	0
		高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無記入
	【1-(3)】授業実施前のご自身の社会保障への関心の度合いはどうでしたか	1	0	0	0	0	0
	【1-(4)】授業実施後のご自身の社会保障への関心の度合いはどうでしたか	1	0	0	0	0	0
		わかりやすかった	ややわかりやすかった	普通	ややわかりにくかった	わかりにくかった	無記入
	【2-(1)】今回の授業で使った社会保障教育の教材はわかりやすかったですか？	1	0	0	0	0	0

## ⑩新渡戸文化高校 集計結果(生徒 自由記載)

### 生徒【実施前-3】

社会保障のことで知っていることを教えてください。どのようなことでもよいです。

- ・病院などで出す保険証
- ・社会で生活していくうえでさまざまな問題が起こったときに保障する制度？
- ・会社で働いている人が、ケガや病気になったときにお金がもらえる。
- ・ケガや病気をしたときに社会が保障して3割お金をだしてくれる。
- ・スウェーデンでは国民に負担が大きいですが、その分、福祉は充実している。→「高福祉・高負担」
- ・老人、小さな子供や障害者の安全に住める町？
- ・失業保険
- ・年金
- ・生活保護？
- ・税金
- ・生活支援
- ・分からない+無記入。12名

### 生徒【実施後-5】

今回の授業の良かった点や悪かった点、授業全体の感想、社会保障全般についてどう思うかを教えてください。

☆良かった点

- ・ビデオやパワーポイントを使っていた。6名
- ・改めて社会のことが分かった。
- ・先生がんばった
- ・プリントでわかりやすかった。また、仮に一人暮らししたらどうなるか知れて良かった。
- ・基礎が良く分かった。
- ・はなしかた
- ・全部
- ・資料たくさん
- ・身近に感じられた
- ・特になし+無記入。7名

☆悪かった点

- ・説明が伝わりにくかった。
- ・先生の説明が長い。2名
- ・少し後半スピードが早かった。2名
- ・ちょっと文字が見えなかった事。
- ・先生まわりくどい。
- ・内容がやはり難しい。仕方ないけど…
- ・グラフが分かりにくかったです。
- ・途中少し退屈になった
- ・進み方がはやかった。
- ・特になし+無記入。8名

## ⑩新渡戸文化高校 集計結果(生徒 自由記載)

### ☆授業全体の感想

- ・良い感じ。3名
- ・(話を聞くばかりで)眠くなった。2名
- ・社会保障がどういうものかよく分かった。
- ・知らないことがとても多かった。3名
- ・あまり遠い先のことではないから、今日の授業を忘れないようにしようと思った。
- ・分かりやすかった。4名
- ・よく分からない。
- ・知らないことを知ることができて良かった。
- ・もっと意見を聞いたり、言う方が寝ちゃう人が出ないと思った。
- ・興味がわいてきた。
- ・分かりやすいように工夫してくれていた。
- ・いろいろなことがわかった。
- ・特になし、無記入。4名

### ☆社会保障全般について

- ・よく理解できた。2名
- ・基本的に良い印象は受けたが、まだまだ分からないことがある。
- ・いろいろな保障があるんだなと思った。
- ・いろんなことがわかった。
- ・便利だと思った。2名
- ・理解できたけど、分からないものもあった。20才までに理解していたい。
- ・日本の制度が少しでもよくなればいいのにと考えた。
- ・20歳から年金を払うということが分かったが、学生であったら、その期間は年金を払わなくても良いんじゃないかと思いました。
- ・こんなに社会が保障してくれていて、ありがたいと思った。
- ・大切だけどめんどくさい。
- ・年金の事や今後の生活の事が学べて良かった。
- ・言葉を聞いただけではよく分からなかったけれど、詳しいこと(働いている人が高齢者を助ける)が分かってよかった。
- ・これからも学びたい。
- ・20歳～保険に入らなければならないことや、負担があること。
- ・理解できたけど、わからないものもあった。
- ・難しすぎてよくわからなかった。
- ・特になし、無記入。6名

## ⑪新渡戸文化高校 集計結果(教諭 自由記載)

教諭 【1-(5)】そのほか今回の授業を行ってお気づきになられた点を自由にお書きください。

### ①良かった点

・社会に出て必要であるにもかかわらず、これまで教えられなかった社会保障について教えることができたこと。

### ②改善すべき点

・全部詰め込むのではなく、ポイントを絞って教えても良かったかも。

### ③社会保障全般について

・自分自身でも振り返るきっかけになり、勉強になった。教師としてもっと理解を深めていかなくてはいけない。

【2-(2)】今回の教材について良い点をご自由にお書きください。

・かなり丁寧に細かく説明がされている。内容が豊富

【2-(3)】今回の教材について不足している点をご自由にお書きください。

・たとえば高卒で働いている設定だったので、大学など上級学校への進学率も高いので、大卒設定のほうが良かった。

【2-(4)】『10個の「10分講座」』についてよいと思う点をご自由にお書きください。

・今回の授業では触れられなかったが、クイズ形式の方が生徒の興味は引きやすいかもしれない。

【2-(4)】『10個の「10分講座」』について不足している点・改善点があればご自由にお書きください。

・特になし

⑫ルネサンス高校 集計結果(生徒・教諭 5段階評価)

質問項目		良い	やや良い	普通	あまり良くない	良くない	無記入
生徒	【実施前-1】社会保障制度に対してどのようなイメージを持っていますか？	1	5	18	9	0	1
	【実施後-1】社会保障制度に対してどのようなイメージを持っていますか？	4	12	15	3	0	0
		高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無記入
	【実施前-2】社会保障制度に対する関心はどのくらいですか？	2	3	21	4	3	1
	【実施後-2】社会保障制度に対する関心はどのくらいですか？	6	15	12	0	1	0
		わかりやすかった	ややわかりやすかった	普通	ややわかりにくかった	わかりにくかった	無記入
	【実施後-3】今回の授業で使った社会保障教育の教材はわかりやすかったですか？	10	13	10	0	1	0
		そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそうは思わない	そう思わない	無記入
【実施後-4】今後も、このような社会保障に関する学習に取り組みたいとおもいますか？	11	16	6	0	1	0	

質問項目		高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無記入
教諭	【1-(1)】授業実施前の生徒の関心の度合いはどうでしたか	0	0	0	1	0	0
	【1-(2)】授業実施後の生徒の関心の度合いはどうでしたか	0	0	1	0	0	0
		高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無記入
	【1-(3)】授業実施前のご自身の社会保障への関心の度合いはどうでしたか	0	1	0	0	0	0
	【1-(4)】授業実施後のご自身の社会保障への関心の度合いはどうでしたか	1	0	0	0	0	0
		わかりやすかった	ややわかりやすかった	普通	ややわかりにくかった	わかりにくかった	無記入
	【2-(1)】今回の授業で使った社会保障教育の教材はわかりやすかったですか？	0	0	1	0	0	0

### ⑬ルネサンス高校 集計結果(生徒 自由記載)

生徒 【実施前-3】

社会保障のことで知っていることを教えてください。どのようなことでもよいです。

- ・年金(国民年金、厚生年金) 22名
- ・保険(健康保険、介護保険、雇用保険) 14名
- ・生活保護 9名
- ・医療 4名
- ・こども手当 2名
- ・知らない、わからない、無記入。12名

生徒 【実施後-5】

今回の授業の良かった点や悪かった点、授業全体の感想、社会保障全般についてどう思うかを教えてください。

☆良かった点

- ・分からなかった事が分かって良かった。3名
- ・基本的な所から分かりやすく教えてくれた。
- ・社会保障について知識が深まった。2名
- ・分かりやすかった。4名
- ・グループディスカッションが良かった。3名
- ・みんなで考える事ができた。2名
- ・保障制度に関して改めて考えた。
- ・社会保障について考える良いきっかけになった。
- ・プロジェクターの使用。
- ・話し合いながら考えたりできたのが良かった。2名
- ・教材DVDが簡単で分かりやすかった。
- ・健康保険の負担額が分かった。
- ・年金や健康保険の基本が分かった。
- ・社会保障について詳しく分かった。
- ・難しかったが、知ってよかった事もあった。
- ・分かった事。
- ・プリントが分かりやすかった。
- ・様々な保険があり、色々な勉強にもなり、自分自身の注意力が増した。
- ・いろいろな人の意見が聞けて楽しかった。
- ・よく分かった。
- ・映像つきで分かりやすかった。
- ・グラフなどで見やすくしてくれた事。
- ・普段あまりふれない部分にふれられた。
- ・知らない、わからない、無記入。

☆悪かった点

- ・特になし 18名
- ・時間が足りなかった。5名
- ・ビデオが長い。2名
- ・資料が若干わかりづらいところがあった。
- ・班を作る意味があまりない。
- ・話し合いは意見がでない。
- ・もっと詳しく知りたかった。
- ・もっと詳しく年金の種類や健康保険の制度を知りたかった。
- ・まだあまり実感がない。
- ・年金が不安
- ・点グラフは見づらい。

### ⑬ルネサンス高校 集計結果(生徒 自由記載)

生徒 ☆授業全体の感想

- ・ためになった **3名**
- ・もっと勉強したいと思った。
- ・他の人の意見を聞きながら学ぶ事ができて良かった。 **2名**
- ・非常に分かりやすかったが、1つ1つのテンポが早かった。
- ・グループで考えながらできたのが良かった。 **5名**
- ・あまり社会保障について考えることがなかったが、改めて重要さを認識した。
- ・時間が足りなかった。 **3名**
- ・分かりやすかったが一部眠くなった。
- ・社会保障についてあまり関心がなかったが、勉強できて良かった。
- ・知らない事もあって良かった。
- ・内容が難しかった。
- ・DVDが少し眠くなったが、ためになる話を聞いた。
- ・分かりやすかった。 **2名**
- ・勉強したいと思っていたため、学習できて良かった。
- ・DVDを見ながらで分かりやすかった。
- ・とても良かった。 **2名**
- ・色々な人の考えがあると思った。
- ・良い雰囲気のできた。
- ・意見を言いあえて楽しかった。これをきっかけにもっといろいろ知りたいと思った。
- ・考えてみようと思うことができた。
- ・もっと詳しく知りたかった。
- ・特になし **2名**

☆社会保障全般について

- ・社会保障は大切だと思った **3名**
- ・一人一人がもっと考えなければいけないと思った。
- ・人それぞれ考え方が違うため誰も安心して暮らしていけるようにみんなが望む保障になるのは無理だ
- ・もっと国民に分かりやすく伝えたら理解をし、未払い者が減少すると思った。
- ・国民全員が安心して入れる保障にした方が良かったと思った。
- ・今後、もっと新しい制度を作って欲しい。
- ・勉強になった。 **2名**
- ・もっと勉強しなければいけないなと思った。
- ・今の日本の制度だと女性に不利な事や年金が自分の老後の時に受け取れるか不安。
- ・もっと良くして欲しい。
- ・まだまだ知らないことが沢山あるため、これから勉強したい。 **2名**
- ・とりあえず、払わなきゃいけないと思った。
- ・これからどうなっていくか分からないが、自分たちが社会をつくる。
- ・良いと思うが、考えなければいけないこともいっぱいあると思った。
- ・もっと知りたい(勉強したい)と思った。 **2名**
- ・すごくためになる話で勉強になった。
- ・とりあえず、税金は払い続けます。
- ・これからはどうなるかわからない。
- ・大事
- ・いろいろな事が分かって良かった。
- ・きちんと払わないと自分が大変な事になってしまう。
- ・社会保障は生きるために必要不可欠だと思った。
- ・もしもの時の保険でありがたい。
- ・日本が良いのか難しいところだが、しっかり払っていこうと思った。
- ・先に不安があると思う。
- ・まだ分からない事がある。
- ・特になし **3名**

## ⑭ルネサンス高校 集計結果(教諭 自由記載)

教諭 【1-(5)】そのほか今回の授業を行ってお気づきになられた点を自由にお書きください。

### ①良かった点

・社会保険に対する関心は高くなったと思う。

### ②改善すべき点

・時間不足だった。量が多かった。

### ③社会保障全般について

・健康保険への興味が高まり、内容をとらえられたと思う。

【2-(2)】今回の教材について良い点をご自由にお書きください。

・じっくりと勉強するにあたっては良い教材だと思う。2時間扱いたとボリュームがある。

【2-(3)】今回の教材について不足している点をご自由にお書きください。

・教える点と話し合いをする点を分けて提示していただくこと。もっと内容を精選すること。

【2-(4)】『10個の「10分講座」』についてよいと思う点をご自由にお書きください。

・解答が分かりやすかったと思う。

【2-(4)】『10個の「10分講座」』について不足している点・改善点があればご自由にお書きください。

・ボリュームが多すぎる。何も知らない生徒を対象とするのか否かが不明確だった。



### 3. 授業の実施結果の検証

#### 3-1. 明蓬館高校

##### (1)「プログラム(授業計画)」として効果的だったと思われる点

- ・授業の冒頭にまず、「2大テーマ」として年金と公的医療保険を示した上で、早めにDVDの視聴に入ること、スムーズに社会保険の概要が理解できたと思われる。生徒の意見としてもDVDがわかりやすかったという声があった。
- ・その後、教諭から生徒に問いかけをしながら授業が展開されたことで、生徒の集中が継続していたと思われる。例えば、「身近な社会保障」ワークシートにおける「わたしたちの生活と社会保障」の解説において、生徒にも経験のある「予防接種」や教諭の実生活における育児と児童手当の給付などを例にして話しながら、生徒の経験を思い起こさせて社会保障の具体的なイメージを喚起させるように授業を展開していた。  
また社会保障の負担と給付の関係を時系列で示したグラフの解説では、どこから給付が増えてくるのか問いかけ、生徒に答えさせることで、グラフから読み取れる意味を確認しながら授業を進めていた。  
その結果、事前アンケートでは、社会保障に関心が「高い」・「やや高い」を選んでいる生徒はいなかったが、事後アンケートでは過半数の6人が関心をもつようになった。
- ・グループワークを導入したことにより、自分の将来の生活との関係で、社会保障の負担とサービスの関係がどのようなバランスであるべきか、また、「社会保障のあり方」について、理解を深めることができたと思われる。アンケートでも社会保障は必要だとの生徒の声があった。

##### (2)「プログラム(授業計画)」としての問題点・改善点

- ・弊社で検討した授業展開案では、DVD教材を視聴した上で、ワークシートを2つ使用し、かつグループワークを導入する方法としたため、全体的に「急ぎ足」の授業になってしまった。教諭の意見としても「時間が足りない」という指摘があり、生徒の声としても「もっと深く勉強したい」という声があった。DVD教材を視聴する場合には、ワークシートは1つに絞った方が、グループワークなどで生徒にじっくり考えさせることができたと思われる。

##### (3)「教材」として効果的だったと思われる点

- ・教材の分かりやすさについてのアンケート結果では、10名が「よい」・「やや良い」と回答しており、ワークシートはそのまま使用しても生徒の制度理解に一定の効果があり、必ずしも難易度が高すぎるわけではないと思われる。
- ・DVD教材は、「とてもわかりやすかった」という生徒の意見があった。教諭の意見も「イメージしやすく、わかりやすかった」というものであった。

#### (4)「教材」としての問題点・改善点

- ・教諭の声としては、DVD教材については、イメージしやすく良かったが、少々長いという意見があった。DVD教材の内容を解説すること、生徒に飽きさせないことを考慮すると、20分程度に収まっていた方が、使いやすいと思われる。

#### (5)全体として

- ・担当教諭がカリキュラムの進行をしっかり管理していたため、予定通りにカリキュラムを消化することはできたが、全体的に急ぎ足の授業になってしまった感があり、弊社の提案にしたがったカリキュラムでは、ボリュームが多すぎたと思われる。
- ・グループワークについては、事後アンケートで良かった点として「自分で考えるようにプリントができていた」といった意見や「自分にとって遠いものではないと思った」といった意見があり、全体的な生徒の関心も高まっていたことから、生活との関係の「実感」を持たせるという当初の狙いについては、一定の効果があったと思われる。
- ・本件モデル授業では、学習範囲を社会保障の「理念・内容・課題」に絞り込んだうえで「重点とすべき学習項目」を提示することで、社会保障の仕組みなどを通り一遍で教えていくような高校の授業とは異なるアプローチを試みた。たとえば、「日本の社会保障制度の考え方」を理解するためのトピックとして、「社会保障制度は、市場経済だけでは果たせない社会の安定等の目的を達成するために所得再分配を行っていること」や「社会保障制度は国ごとに大きく異なり、その国の社会のあり方を映し出していること」などを、「重点項目」として取り上げている。

こうした点を踏まえて、同校は、2種類のワークシートとDVD教材を使用し、上記のような重点項目について解説授業を実施した。「理念・内容・課題」という、これまでと異なるアプローチを用いたことについて、授業を実施した教諭からは、「授業でなかなか時間を作れない内容だったので、助かった」との声のほか、「制度の存在さえ知らない生徒も、この授業で『そういうものがあるのか』と知ってくれたと思う」と、新たな手法に対して一定の評価を得ることができたと思われる。生徒側からも、授業を通じて「もっと詳しく知りたいと思った」、「これからも続けてもらいたい」との前向きな要望があったほか、「前よりも知ることができた」、「知らなかったこともあったので、日本で生きていく中でこういう授業を受けられてとても良かった」といった感想もあり、日本の社会保障への理解を深めさせる効果は高かったと考えられる。

## 3-2. 荻窪高校

### (1)「プログラム(授業計画)」として効果的だったと思われる点

・まずクイズを行って生徒の関心をひき、続いてDVDを視聴し、その上でグループワークを行うというストーリー展開を進めたため、グループワークで問われていること(社会保険料を払っていないとどういうリスクがあるか、社会保障のあり方と、その「あり方」と国民の負担との関係)について、正しい制度理解のもとに検討がなされ、「実感」をもちながら理解させることができたと思われる。生徒の意見としても、グループワークは、「面白かった」という意見が複数あった。

・10分間クイズを導入で使用したことにより、生徒を授業に惹きつけることができたと思われる。生徒の意見の中にも授業が「面白かった」という声があり、導入にインパクトのある問いかけをする効果があったと思われる。

たとえば、「現在65歳の日本人女性は、その後平均で何年生きると思うか？」という問題(「10分間クイズ」P1)により、65歳以降の人生が20年以上もあることが分かり、老後の人生が長いことを理解させる効果があったと思われる。

また、「20歳～64歳の人が・・・2050年には『何人で1人』を支えることになるのでしょうか？」という問題(「10分間クイズ」P9)については、単純な計算上は、1.2人で1人の高齢者を支えることになること、しかしながら年金は人口の変化を考えた積立金があることを知ることで、年金制度に対する関心を高めていたと思われる。

### (2)「プログラム(授業計画)」としての問題点・改善点

・グループワークについては、面白かったという意見がある反面、「盛り上がらなかった」という意見もあった。実際、グループワークに割ける時間は10分程度であり、十分に検討する時間を取れていなかったことがプログラムの問題点だったといえる。

### (3)「教材」として効果的だったと思われる点

・紙教材については、2つのワークシートと10分間クイズを再構成した「荻窪高校版」を制作した。内容は、2つのワークシートの骨子は生かしたまま、まず10分間クイズをとり入れて生徒の関心をひき、DVDを視聴した後で、グループワークを行うというカリキュラムのストーリーにしたがった構成にした。また、グループワークの部分では、家計のやりくりについて、計算結果をあらかじめ挿入したこと、社会保障のあり方について各経済主体の負担がどのように身近な問題として現れるかヒントを加えた。

また、グループワークの論点を明確にし、かつ検討する際に考慮すべきことをより分かりやすく示した結果、授業の進行をスムーズにする効果と生徒の理解を助ける効果があったと思われる。

- ・アンケートでも、4校全体の集計結果では、61.2%(52人)が「わかりやすかった」・「ややわかりやすかった」と回答しているのと比較して、荻窪高校では70.5%とより高い数値となった。生徒の声としても「教材がわかりやすかったし、内容が面白かった。」というものがあつた。
- ・上述の通り、10分間クイズを導入で使用したことにより、生徒を授業に惹きつけることができたと思われる。
- ・DVD教材については、生徒、教諭ともに「わかりやすい」という声があり、社会保障に対する理解を深める効果があつたと思われる。

#### (4)「教材」としての問題点・改善点

- ・担当教諭の意見としては、ワークシートの内容が難しいという指摘があつたが、難しいというよりも1つのワークシートの情報量が多いため、2時限の枠内でDVDの視聴とあわせて2つのワークシートを消化しようとする、分かりにくくなってしまうと思われる。

#### (5)全体として

- ・グループワークについては、「盛り上がらなかった」という否定的な意見がある一方で「いろいろな意見があり興味深かった」という肯定的な意見も多く、アンケート結果の内容は概ね「良かった」、「ためになった」というものであり、社会保障の必要性や重要性が、生徒に「実感」できる授業として、一定の効果があつたと思われる。

### 3-3. 新渡戸文化高校

#### (1)「プログラム(授業計画)」として効果的だったと思われる点

- ・同校では、2時限で2つのワークシートとDVD教材を使用し、教諭が、具体的な事例を口頭で加えながら解説していく形で授業を進行した。

具体的には、社会保障と家計の関係では、教諭自身の給与と社会保障の負担の状況、学生時代に払ってなかった経験、猶予制度を知らなかったことなどを織り交ぜて、身近な問題として実感できるように工夫をされていた。

そのため、アンケートの生徒の意見の中にも、「身近に感じられた」や「あまり遠い先の話でない」といったものがあり、生徒が生活や将来との関わりに実感を持つことに一定の効果があったと思われる。

#### (2)「プログラム(授業計画)」としての問題点・改善点

- ・当初、2時限目にグループワークを実施する予定であったが、計画よりも座学の時間が長くなり(特に家計と社会保障の関係について時間をかけて解説した)、結果的には実施できなかった。
- ・2種類のワークシートを2時限で丁寧に消化するには、ボリュームが多すぎたと思われる。生徒のアンケートでも「少しスピードが速かった」という声があり、また、他校と比較して「分からなかった」という声が多かった。同校の1年生は、これまで授業の中で社会保障に触れたことがなかったため、情報量が多すぎた可能性がある。

#### (3)「教材」として効果的だったと思われる点

- ・明蓬館高校同様に2種類のワークシートとDVD教材を使用した。
- ・ワークシートについては、同校のアンケート結果から考察すると、「教材がわかりやすかったか?」という問いに対して、「わかりやすかった」・「ややわかりやすかった」と答えた生徒は23人中7人で低調だったものの、授業の良かった点についての自由記載は、ビデオやパワーポイントを使っていたことと書いた生徒が6人おり、1年生を対象とした授業としても、理解を深める上で効果的な教材だったといえる。
- ・DVD教材については、生徒・教諭ともに具体的な指摘はなかったが、上述の通り、「良かった点」の指摘としてDVD教材を用いたことが記載されており、生徒の理解を深める効果はあったと思われる。

#### (4)「教材」としての問題点・改善点

- ・上述の通り、他校と比較して生徒のアンケート回答の中に「分からなかった」という声が多かったことを考慮すると、予備知識の少ない生徒を対象とする場合には、ワークシートのように制度の仕組みを教える形ではなく、「10分間クイズ」のようにトピックごとに教える教材を活用した方が、適切であったように思われる。

#### (5)全体として

- ・当初の予定通りにグループワークを実施することができなかったが、教諭の体験談を織り交ぜる説明方法により、生徒に社会保障を学ぶ必要性や重要性を理解させるうえで、一定の説得力のある授業にはなったと思われる。  
上述の通り、本校の授業では生徒の声として「分かりにくかった」というものもあったが、反対に「よく分かった」という声もあり、生徒の反応のバラツキが大きくなっていた。  
よって、生徒の予備知識の有無によりこのような差が生じたものの、予備知識のある生徒に対しては、十分に分かりやすい内容になっていたと思われる。ただ、いままですら授業で触れたことがなく、知識量にバラツキがある状況下においては、「分からなかった」と答えたような生徒を対象とするカリキュラム構成が適していたと思われる。
- ・「理念・内容・課題」という、これまでと異なるアプローチを用いたことについて、指導教諭からは「自分自身でも振り返るきっかけになり、勉強になった」、「社会に出て必要であるにもかかわらず、これまで教えられなかった社会保障について教えることができた」と評価の声があがった。生徒側からも「あまり遠い先のことではないから、今日の授業を忘れないようにしようと思った」、「こんなに社会が保障してくれていて、ありがたいと思った」、「言葉を聞いただけではよく分からなかったけれど、詳しいこと（働いている人が高齢者を助ける）が分かってよかった」といった感想があり、社会保障に対する理解や関心が高まった様子がうかがわれる。
- ・さらに、新たな社会保障の授業形態を通じて、「教師としてもっと理解を深めていかなくてはいけない」といった意見もあり、教諭にとっても社会保障に対する問題意識が高まったと思われる。

### 3-4. ルネサンス高校

#### (1)「プログラム(授業計画)」として効果的だったと思われる点

- ・授業の導入で、教諭が脚を怪我した自身の体験談を挿入したことにより、生徒の意見としても「きちんと払わないと自分が大変な事になってしまう。」や「改めて重要さを認識した」といった声があり、授業全体を通して関心を高める効果があったと思われる。
- ・また、導入で老後の生活にかかる生活費についても具体例(金額)を示しながら、問題提起をし、生徒の関心をひきつけた。
- ・授業全体が論理的な流れを意識した展開となっており、その点も生徒の理解を助ける上で効果的だった。特に、授業の最初の段階で、「あなたの『もしも』と『これから』は大丈夫？」というテーマ設定を明示することで、健康保険や公的年金の必要性・重要性を考える上で適切な「動機付け」がなされていたと思われる。  
アンケートでも、「あらためて重要さを認識した」や「もっと勉強しなければならない」といった声があり、生徒に社会保障制度を強く印象付けることに成功したと思われる。

#### (2)「プログラム(授業計画)」としての問題点・改善点

- ・プログラムとしては、しっかりと構成がなされて授業に入ったものの、途中でDVDの視聴において、機械トラブルが発生し、授業が5分程度停滞してしまう場面があった点が惜まれる。その結果、新渡戸高校同様に時間が押してしまい、グループワークの時間が十分に取れなくなってしまった。  
グループワークについては、「あまり意味がない」という生徒の声もあったが、「他の人の意見が聞けて良かったというものもあり、もう少し時間が取ればより効果的な授業になったと思われる。
- ・カリキュラム自体もボリュームが多すぎたと思われる。

#### (3)「教材」として効果的だったと思われる点

- ・紙教材は、前述の「荻窪高校版」をベースに、教諭自ら「ルネサンス高校版」を作成し、2つのワークシートを噛み砕いた内容のものを使用した。その結果、アンケートの「教材がわかりやすかったか？」という問いに対しては、「わかりやすかった」・「ややわかりやすかった」と答えた生徒は34人中23人で、生徒の評価はもっとも高かった。教諭の体験に基づく健康保険の必要性や老後の生活費について、分かりやすくインパクトのある教材に仕立てたことが要因と思われる。
- ・DVD教材については、生徒の声としては「わかりやすかった」というものが多く、生徒の理解を高める上で効果的な教材であったといえる。

#### (4)「教材」としての問題点・改善点

- ・「10分間クイズ」については、生徒や教諭の意見としては「解答はわかりやすい」という声がある一方で、「ボリュームが多すぎる」という意見もあった。

#### (5) 全体として

- ・生徒からは「すごくためになる話で勉強になった」といった感想があり、全体的には高い関心をもって授業に取り組んでいたと思われる。
- ・また、「きちんと払わないと自分が大変なことになってしまう」、「社会保障は生きるために必要不可欠だと思った」など、自身の生活に結びつけた感想もあり、生徒が社会保障を自分の生活に引き寄せて理解しようとしていることがうかがわれた。
- ・ただ、弊社が提案したカリキュラム案のボリュームが多すぎたと思われ、急ぎ足の授業になってしまった。



## 4. 社会保障教育の全国展開・定着に向けた考察

### (1) 現状の課題

- ・教諭からのアンケートには「教師としてもっと理解を深めなくてはいけない」という声もあった。社会保障は生活との関連が強いため、生徒から給付金額など具体的な質問があった場合に応答に窮することも想定され、教諭の社会保障に対する教育を充実させる必要があると思われる。例えば、「身近な社会保障」ワークシートにおいては、「入院費が50万円かかった場合という設定がなされているが、3割負担なのか、高額医療となるのか問われた場合、高度な社会保障の知識が必要となるため、ある程度深い制度理解が必要になる場面があると思われる、これに対応できるようなより深い教員向けの講座及び指導用教材が必要になると思われる。
- ・今回のワークシートは社会保障の理解を深めるために一定の効果があると思われるが、前述の通り、1ページあたりの情報量が多すぎるとわれ、高校生への授業に不向きと感じる教諭もいるように思われる。
- ・DVD教材は、内容が分かりやすいという声が多いものの、やや長すぎるという声があった。

### (2) 提案

- ・教諭に対する社会保障教育については、消費者庁や国民生活センターが実施している「消費者教育」の推進活動を例として、高校教員への教育実習の機会を設けていくことで、社会保障教育推進の基盤づくりができると思われる。
- ・ワークシートは、より簡略な図を用いたり、クイズ形式の記載方法にするなど、より生徒の関心を惹きつける工夫が必要になると考える。例えば、3つの社会保障を支える主体(政府、市場、家族)などについては、それぞれ生活のどの部分に影響を与えるのか直接的に表現した記載にするなど、生活との関係を強調した方が生徒の「実感」と制度理解を深めるにあたっては、より効果を発揮できると考える。  
また、全学年統一仕様とするよりも、学校の状況に応じて各学年向けに分かりやすさを調整した教材を用意しておくことで、より導入しやすい教材になると思われる。
- ・1コマ45分の授業では、DVD教材の長さが25分では、解説講義の時間があまりとれなくなるため、20分程度に再編集することでより利用しやすくなると思われる。



**参考資料**  
**担当教師オリジナル教材**



# 荻窪高等学校



# 社会保障ってなに？

社会人になる前に知っておきたい社会保障のしくみ

## パート1

・まず、アンケート①に答えてみてください。

・それから、クイズにトライしてみよう！

高校生が知っておくべき将来の話①

# 「100歳まで生きる」が 当たり前の時代に？

**Q1** 世界一長寿といわれる日本人女性の平均寿命は86歳です。では、現在65歳の日本人女性は、その後平均で何年生きると思いますか？

- ① 18年 ② 21年 ③ 24年

**Q2** 今の男性の平均寿命は79歳ですが、例えば、30年以上前の1980年の男性の平均寿命は、何歳でしたか？

- ① 68年 ② 73年 ③ 78年

**Q3** 社員が退職して、老後を迎えるのは65歳からです。その後、30年間、つまり95歳まで生きるとしたら、老後の生活費はいくら必要ですか？

- ① 6300万円 ② 7300万円 ③ 8300万円

## 女性に2人に1人が90歳まで生きる！

現在の「平均寿命」は「男性で78歳、女性で86歳」（2011年、厚生労働省）となっています。このことから、現在86歳の女性が「何年生きるか？」の答えは、「86歳-65歳=21年」と考えることができますが、実はこれは「間違っています」。実は「平均寿命」には、0歳で亡くなった場合など、65歳を迎える前に亡くなった人も含まれています。

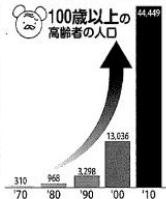
現在65歳まで生きている人だけで、残りあと何年生きるのか（＝「平均寿命」）を考えると、寿命はもっと長くなり、24年間生きます（答えは3）。つまり、65歳まで生きた女性は、平均で89歳まで生きるのです。現在65歳の男女が何歳まで生きるかをまとめてみると、下の表のようになります。実に女性の割合、2人に1人が90歳まで長生きして、15人に1人は100歳まで長生きする時代なのです。

★65歳の女性は何歳まで生きる？				★65歳の男性は何歳まで生きる？			
70歳	80歳	90歳	100歳	70歳	80歳	90歳	100歳
97%	84%	49%	6%	93%	68%	25%	1%

## 100歳以上の高齢者は30年前より約50倍も増えた！

では、高校生の皆さんは何歳まで生きるのでしょうか？ 現在、16歳なら70年くらいは人生が続きそうですね。ただし、医療や介護の発達で、日本人の寿命は伸び続けていることも忘れてはいけません。

例えば、今から30年以上前の1980年の平均寿命を見てみましょう。男性は73歳、女性は79歳となっていて、今よりも男性で6歳、女性で7歳も人生が延びました（したがって正解は2）。ということは、みなさんがお年寄りになるころには100歳まで生きるのが当たり前になっているかもしれませんね。ちなみに100歳以上の高齢者は1980年には1000人以下（988人）でしたが、2012年にはその59倍の6万人を超えています。そうした点を考慮すると、65歳くらいまで生きる前提で老後の生活設計をした方がよいかもかもしれません。



## 老後は、毎月20万円以上が家計から出ていく!!

老後の人生は、思ったより長いものになりそうです。65歳で会社を定年退職して95歳まで生きると、その後、30年間も生きることになります。生活はどう暮らしていけばいいのでしょうか？ イメージがわかないかもしれませんが、老後の1か月の生活費は、80代の世帯で30万円、70代以上の世帯で22万円となっています（下記）。つまり、1年間で480万円が360万円、70代以上で260万円かかります。95歳までの30年間生きるとすれば、1380万円×5+260万円×25＝8300万円も必要となってきます（答えは3）。

世代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
世帯人数	1.58人	3.06人	3.22人	2.77人	2.31人	1.88人
1か月の支出	23万円	32万円	39万円	39万円	30万円	22万円

高校生が知っておくべき将来の話②

# 高齢者になったら、どう 生活していけばいい？

**Q1** 老後に引退して働かなくなったら、収入はどうなりますか？

- ① 0円 (なし) ② 0円ではない (あり)

**Q2** 老後には、世帯の平均で毎月約22万円の生活費がかかりますが、それは年金だけでまかなえますか？

- ① すべての人が、全部まかなえる  
② ある程度まかなえるが、全部ではない  
③ ほとんどまかなえない

**Q3** 平均寿命は、男性で79歳、女性で86歳ですが、国の年金は、何年間もらえますか？

- ① 退職して10年間  
② 退職して15年間（平均寿命まで）  
③ 亡くなるまで

## 老後の収入には、国からの「年金」がある！

老後に30年間生きると、「平均的に8300万円もの大金」が必要となることも、前回のプリントで学びました。私たちは、これだけの大きなお金をどうやって準備すればいいのでしょうか？ まず、考えておきたいのは、仕事を引退したら、収入が0円になってしまうかどうかです。実は、高齢者の多くは、国民年金（基礎年金）や厚生年金といった、国からの「年金」をもらいながら暮らしているのです。（したがって、正解は2）

## 「年金」は、老後に国からもらえる「お弁当」！

では、国からの年金は、どれくらいもらえるのでしょうか？ 国からの年金には、主に次の2種類があります。

- 1つ目は、自営業者が入る「国民年金」
- 2つ目は、会社員が入る「厚生年金」

気になるのは年金でいくらもらえるか……ですが、これは「年金の種類」によって異なります。自営業者が入る「国民年金」であれば、1か月では、約6万6000円。会社員が入る「厚生年金」の場合は、1か月では、約16万円がモデルケースになっています。金額をあまりピンとこない人のために、右のイラストのように「年金」を「国から毎日配られるお弁当」に例えて考えてみましょう。

まず自営業者の年金は、お弁当に例えると、「お米」だけ（＝月6万6000円）の状態で、それは、自営業者は「定年」がく風船になっても減るので、お米の部分は自分で稼ぐ仕組みになっています。

一方、会社員は「定年」があるため、お弁当に例えると、「おかずのお弁当」（＝月約16万円）です。前回のプリント①で、70代の夫婦2人で月22万円の生活費がかかることを学びました。これと会社員で見ると会社員は平均で1人あたり月約16万円の年金がもらえるので、食費は言うまでもなく、生活費の大部分がまかなえることとなります。ちなみに、農家が国民年金の場合は、世帯の合計で月約22万9000円ということになり、平均的な世帯の生活費は、ほぼ、まかなえることにもなるのです。（したがって、正解は2）

でも、これはあくまで平均的な話で、老後には急に重い病気になることもあるなど、どの家計においても、年金だけでまかなえるわけではないので、老後のために「貯金」などで収入を稼ぐことも大切なのです。

## 国の年金は、「亡くなるまでもらえる」！

長生きするとその分、生活費がかかりますが、厄介なのは、「自分の寿命は誰にも予測することができません」ということです。100歳まで生きるのが不思議ではない時代、いくらか予測はいいかもしれませんが、不意に命を奪われるというリスク、例えば、平均寿命までの生活費を自分で貯めていたとしても、それ以上に長生きするかもしれないので、老後に安心して生活するためには、自分の貯金だけでは不安が湧きます。そこで、このような「いつまで生きるかわからない」という「リスク（危険）」に備えるために、国からの「年金」は、亡くなるまでもらえるようになっているのです。（したがって、正解は3）

次回は、「そもそも国の年金の仕組みは？」について解説します。



高校生が知っておくべき将来の話③

# そもそも、国の年金の仕組みは？

**Q1** 国の年金制度に入っているのは誰でしょう？

- ① 国民全員
- ② 原則20歳以上の人
- ③ 原則60歳以上の人

**Q2** 自分たちが払う年金の保険料は、何に使われるの？

- ① 基本的には、自分の将来の年金のために積み立てている
- ② 基本的には、今の高齢者の年金に充てている

「もらう」のは老後から、でも「払う」のは…

国の年金がもらえるのは基本的に65歳からで、あなたが高校生の場合、40年以上も後の遠い将来の話ということになります。

しかし、実はこの期間の答えは「3」ではなく「2」。  
年金制度に入るのは「原則20歳以上の人」、つまり高校生の場合、「数年先」のことなんです。なぜ、20歳から年金制度が関わってくるのでしょうか。  
それは、年をとってリタイアした後、年金を「もらう」ためには、若いころ、つまり20歳以降に「年金保険料」というかたちで国に保険料を「払う」必要があるからです。具体的に、まず、日本に住んでいる国民は全員が「国民年金」という制度に入り、毎月約1万5000円の保険料を国に払うこととなります。これは、大学生でも、フリーターでも同じです。  
そして、会社員になると、「厚生年金」という制度に入ることになります。「厚生年金」の場合、国に払う保険料の金額は、給料の約16%となります。例えば、月25万円の給料をもらっている会社員では、約4万円が年金の保険料となります。ただ、(法律で)この保険料のうち半分の8%は会社が負担することが決められています。そのため、月25万円の給料の人では、約2万円が年金の保険料として給料から差し引かれるようになります。

国の年金で、老親への「仕送り」を肩代わり

国の年金は、大人でも「自分が払ったお金だから、自分の老後のために積み立てている」と誤解してしまいがちですが、正解は「2」で、「基本的には、今の高齢者の年金に充てている」です。  
実は、若い世代が払っている年金の保険料は、年輩した親への子どもからの「仕送り」のようなもので、その強その弱の高齢者の年金に充てられます。  
戦前、国からの年金がなかった時代は、個人個人で、自分の親類や祖父母と同居して、農業や商店を営みながら高齢者を養っていました。しかし、日本は、戦後、高度経済成長とともに、核家族化が進み、おじいちゃんおばあちゃんから孫までが別居で暮らす世帯は少なくなってきてきました。つまり、社会の急激な変化で、高齢者と同居して支える家族がいなくなってきたのです。  
そうした時代の流れのなかで、高齢者の生活をより安定的に支えるために、おじいちゃん、おばあちゃんをその子どもが直接養う形から、年金という「社会全体で高齢者を養う形」にシフトしてきました。つまり、年金制度は、かつての家族単位での「仕送り」を、国が肩代わりする形で、出来上がったわけですが、ちなみに、日本の年金は、厚生年金は1942年、国民年金は1961年に創設、20歳で払い始める人が年金をもらうのが65歳だから、制度が成熟するにはおよそ50年かかります。



高校生が知っておくべき将来の話④

# 年金は「貯金」なの？ それとも「保険」なの？

**Q1** 年金の保険料を払っていた人が、年金をもらえるのはいつからでしょうか？

- ① 20歳から
- ② 65歳から
- ③ 40歳から

**Q2** もし、あなたが結婚して子どもがいたとしましょう。事故などで30代で亡くなってしまった場合、あなたが払っていた年金の保険料は“払い損”となるのでしょうか。

- ① “払い損”となる
- ② 必ずしも“払い損”にはならない

年金は、「貯金」じゃなくて「保険」！

年金がもらえるのは、老後の65歳から――が「基本」なのですが、実は、40代や50代、そして少数ではありますが20代や30代からも「年金」を受け取っている人がいます。  
今まで話してきた「年金」は、老後に受け取る「老齢年金」の話です。「年金」という場合、ほとんどがこの「老齢年金」を指します。ただ、実際の「国の年金」には他にも、たとえば、障害を負ってしまったときに受け取ることができる「障害年金」もありです。  
「障害年金」は20歳以降であれば年齢にかかわらず、障害を負ってしまったときから受け取れるようになる年金です。つまり、20歳であっても、たとえば交通事故によって障害を負った場合、そこから年金を受け取れるようになるのです。(したがって正解は「1」)

若くして亡くなっても、「遺族年金」がある

国からの年金には、「老齢年金」「障害年金」のほか、「遺族年金」もあります。例えば、Q2のような場合、残された家族は、「遺族年金」という形で年金をもらうことができます。65歳まで亡くなってしまっても、「老齢年金」をもらえないため、それまで払っていた保険料は“払い損”にならぬかと思われかもしれませんが、残された家族には「遺族年金」が支払われるのです。(したがって正解は「2」)

国の年金は、よく「貯金」と誤解されますが、こうした役割をみると、リスクに備える「保険」だということがわかります。そして、国の年金は「保険」なので「老齢年金」や「障害年金」「遺族年金」が受け取れるのも、あくまできちんと年金の「保険料」を払っていた場合に限り得られるわけです。せっかく保険料を支払っているのだから、そもそも「何ももらえなければ払い損」と誤解で考えただけでなく、「リスクに見舞われても給付がある」という安心感を得ていることに気づけるというですね。

実は、長生きも「リスク」？

実は、「長生き」というのも、「障害を負うこと」や「高齢者が若くして亡くなること」と同じく「万一のリスク」なのです。そもそも認定された長寿高齢者は日本人で116歳(2013年5月現在)。長生きは、本来喜ばしいことですが、長生きした分だけ生活費がかかってしまい、「生活資金が尽きるかもしれない」という意味では「リスク」とも数えます。

高校生が知っておくべき将来の話⑨

# もし、年金の仕組みがなかったら…?

30秒クイズ  
Q1

仮に20歳～64歳の方が65歳以上の人を支えるとします。1970年には「8.5人で1人」を支えています。2010年には「2.6人で1人」を支えています。2050年には「何人で1人」を支えることになるのでしょうか?



①0.8人 ②1.2人 ③1.6人

30秒クイズ  
Q2

あなたが一人っ子だったとして、もし国の年金の仕組みがなかったら、2030年にはあなた（だいたい35歳くらい）は1人で何人の高齢者を支えることになると思いますか？



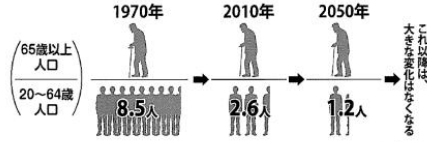
最大( )人



## 騎馬戦→胴上げ→肩車!?

仮に20歳～64歳の人を「支える人」、65歳以上の人を「支えられる人」としてみましょう。日本は少子高齢化が進んでいるため、1970年には「8.5人で1人」、2010年には「2.6人で1人」、2050年には「1.2人で1人」を支える見込みとなっています（したがって正解は「2」）。単純にこの人口構成の変化を踏まえて、以前は「胴上げ」の形で高齢者を支えていたのに、今では「騎馬戦」となり、将来は「肩車」の形になってくる、という見方もできます。ただ、そもそも実際の年金の仕組みは、人口の変化を考えた積立金（ヘソくり）があるので、単純に年齢で「支える人」と「支えられる人」をみても、実はそれほど意味がある話ではないのです。

### 高齢者1人を支える現役世代の人数



## 父、母、祖父、祖母で…

では、もしも、国の年金がなかったら、自分の親を、自分で支えないといけません。寿命も延びているので、父親、母親だけでなく、祖父母の生活の面倒もみる必要があります。

### もし社会保障がなければ…



仮にひとりっ子の場合、自分の両親（2人）と、さらにその両親（4人）の「合計6人」を支えないといけなくなります。

高齢化がピークとなる段階の「1.2人で1人」を社会全体で支えるというのは、一見すると大変に思えます。ただし、もし国の年金がなかったら、「1人あたり最大6人」を支えなければならぬ事象も起こりうるわけです。

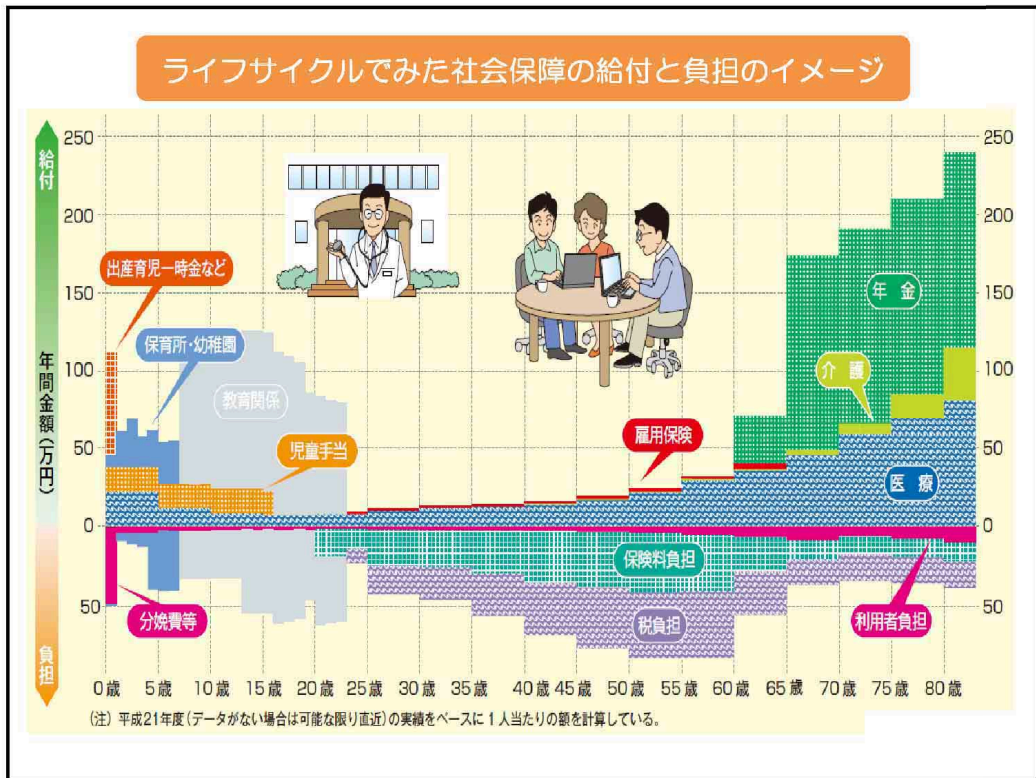
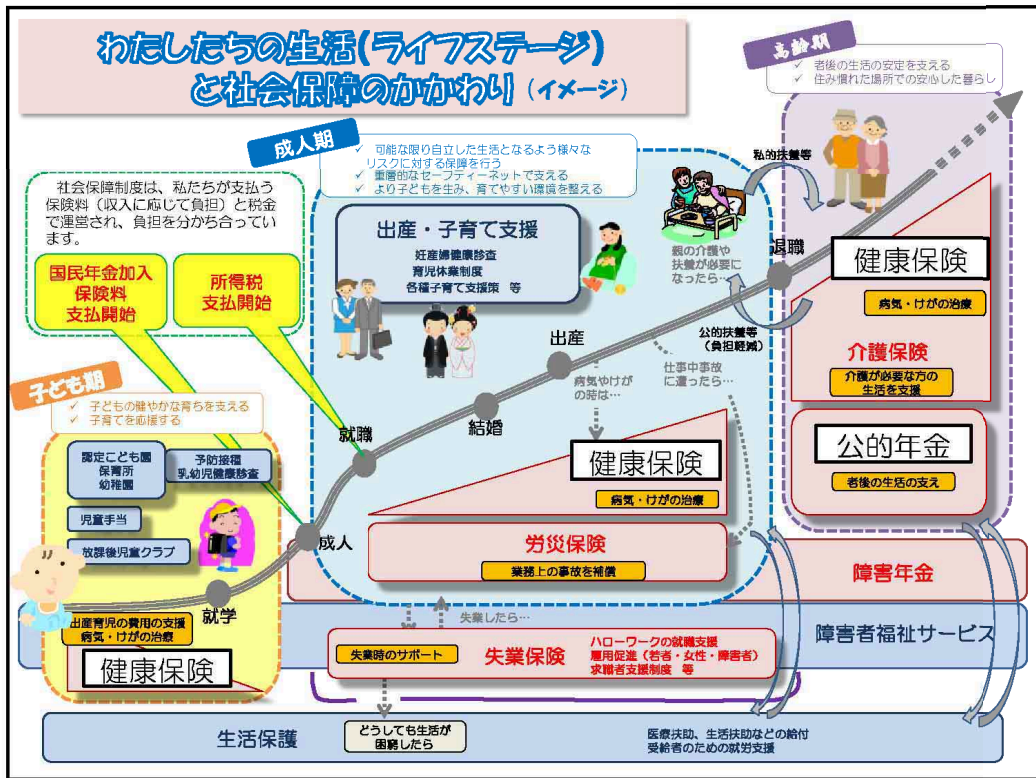
このように、実は「少子高齢化が進んでいるから、支え合いの仕組みが大変」ではなく、少子高齢化が進んでいるからこそ、「社会全体で高齢者を支える」ことの難易度が、より高まることになっているのです。

ちなみに、そもそも、Q1の「支える人」は20～64歳、「支えられる人」は65歳以上という機械的な考え方は、それでいいのでしょうか？ 例えば、これまで20～64歳の「全員」が「支える人」だったのでしょうか？ そして、今後「支える人」を、もっと増やせないのが、などを次のプリントで考えてみましょう。

# パート2

・DVDで社会保険と公的年金を理解しよう。

・それから、社会保障の全体像と生活とのかかわりを把握しよう！



## 年金のしくみの基礎知識

「国民年金」を例にとり、社会保障に必要なお金をどのように集めて、どのように配分しているのを見てください。



### 保険料を払い始める時期は？

大学に進学する場合 → 20歳から国民年金に加入することになります。

中学や高校を卒業して就職する場合 → 勤め先で厚生年金に加入することになります。(給料から天引きされます)

### どうしても払えない時は？

国民年金の保険料の納付が免除・猶予される制度があります。ただし、申請が必要です。

1. 学生で本人の前年所得が一定額以下の場合、保険料の納付が猶予されます。(学生納付特例制度)
2. 所得が一定額以下の場合に保険料が免除となる制度があります。

### 【免除の対象となる所得のめやす】(2012年度)

世帯構成	全額免除 若年者猶予	3/4 免除	半額免除 学生特例	1/4 免除
4人世帯 (夫婦+子2人)	162万円	230万円	282万円	335万円
2人世帯 (夫婦のみ)	92万円	142万円	195万円	247万円
単身世帯	57万円	93万円	141万円	189万円

※収入から各種控除した後の所得ベース

## 年金と貯蓄を比べてみましょう！

### 老後に備えて貯蓄しても…

人は、何歳まで生きるかは予測できない。  
(どれだけ貯蓄をすればよいのかわからない)

50年後の物価や賃金の変動は予測できない。  
(貯蓄しても、将来目減りするかもしれない)

いつ、障害を負ったり、小さな子どもがいる時に  
配偶者を亡くす(=所得を失う)かわからない。

### 公的年金なら…

**終身(亡くなるまで)**で受給できる

**実質的な価値を保障された**年金を受給できる

**障害年金・遺族年金**を受給できる

私たちは自分がどれくらい長生きするかわかりません。また、50年後の生活水準を予測することもできません。老後に備えて貯蓄をすることは大事なことです。長い人生には、自分1人では対応できないこともあります。公的年金があるのは、こうしたリスクへ社会全体で備える必要があるからです。

### ※参考：昔と今の物の値段の比較

	うどん1杯	カレー1皿	食パン1kg	コーヒー1杯
1965年	54円	105円	95円	72円
↓				
2010年	595円	742円	438円	411円

# パート3

## 就職後の生活と社会保障の関係を考えてみよう。

### 就職後の生活と社会保障

次に出てくるA君、Bさん、C君は、それぞれ高校卒業後、就職して一人暮らしを始めました。3人とも月々の給料は157,000円です。

A君は「節約型」、Bさんは「普通型」、C君は「贅沢型」の生活をしています。それぞれの家計の状況を見てみましょう。




A君

将来やりたいことがあるんだ！  
無駄遣いはしないよ！

A君の家計

費目	支出
家賃	50,000
食費	25,000
水道・光熱費	6,000
携帯等通信費	3,500
娯楽費	14,500
税・社会保険料	28,000
預貯金その他	30,000
合計	157,000




**Bさん**

無駄遣いはいらないようにしてるけど、なかなか貯金できないわね。

**Bさんの家計**

費 目	支 出
家 賃	65,000
食 費	30,000
水道・光熱費	10,000
携帯等通信費	8,000
娯 楽 費	16,000
税・社会保険料	28,000
預貯金その他	0
合 計	157,000



**C君**

とまあ、いましかできないことがあるし、保険や年金は払えないよ。

**C君の家計**

費 目	支 出
家 賃	75,000
食 費	40,000
水道・光熱費	15,000
携帯等通信費	10,000
娯 楽 費	17,000
税・社会保険料	0
預貯金その他	0
合 計	157,000

## みんなで考えてみよう！

1. A君、Bさん、C君が、それぞれ次の状況に直面しました。どう対処したらいいと思いますか？

① 病気にかかり1週間入院が必要になった。その際、病院で医療費が合計で10万円かかると言われた。

A君：

Bさん：

C君：

**ヒント**  
健康保険に加入していると、...

② 就職した会社が倒産して失業してしまい、次の仕事を探すまで3ヶ月かかった。

A君：

Bさん：

C君：

**ヒント**  
失業した場合の公的保険は、...

2. 病気や障害などやむを得ない理由で自力で生活することが困難な人は、どうするべきだと思いますか？

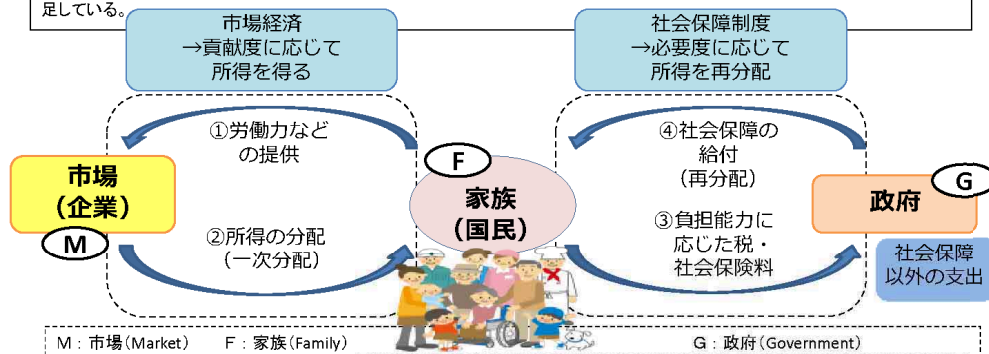
(復習：パート2の資料を見てね)。

# パート4

## これからの社会保障制度のあり方を考えてみよう。

### 「社会保障制度」の果たす役割。

憲法第25条で「生存権」が規定されて以降、日本の社会保障制度は大きく発展し、様々な仕組みが整備されてきた。その中心は、主に**社会保険料**を財源とする「社会保険」であり、**税金**を財源とする「社会福祉」や「公的扶助」、「公衆衛生」などがそれを補足している。



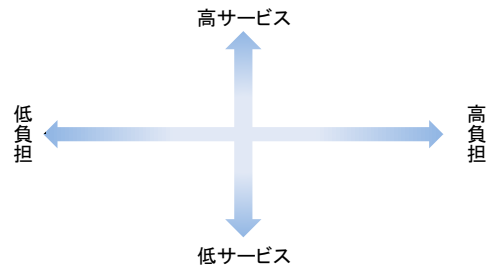
社会保障制度は、私たちが市場での貢献度に応じて得た所得を、必要度に応じて修正する『所得の再分配機能』を果たしている。

- 経済的なサポート・援助が必要な時のために、あらかじめみんなで出合った税・社会保険料を基にして社会的に備えておく仕組みがあるので、私たちは安心して毎日の仕事や生活に全力を尽くすことができる。
- 社会保障制度は、所得の低い人に対して所得の移転を通じて生活を保障したり、病気やけが、障害や高齢により、生活上の困難を抱えたときに、それを乗り越えるのに必要な専門的なサービスや生活費を保障している。
- このようにして、私たちは同じ社会の一員としてお互いに支えあっているのである。

## 考えてみよう！①

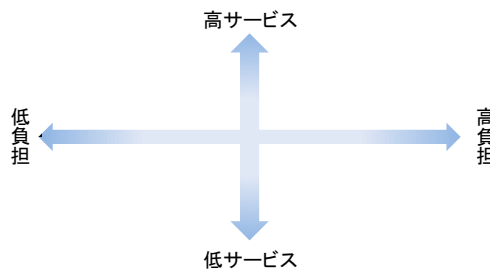
Q1. あなたが望ましいと考える「社会保障制度」のあり方は？  
右の図のどの位置にあるのが良いと思いますか？

※次ページの資料も参考にしてください。



Q2. 実際の日本の「社会保障制度」はどの位置にあると思いますか？

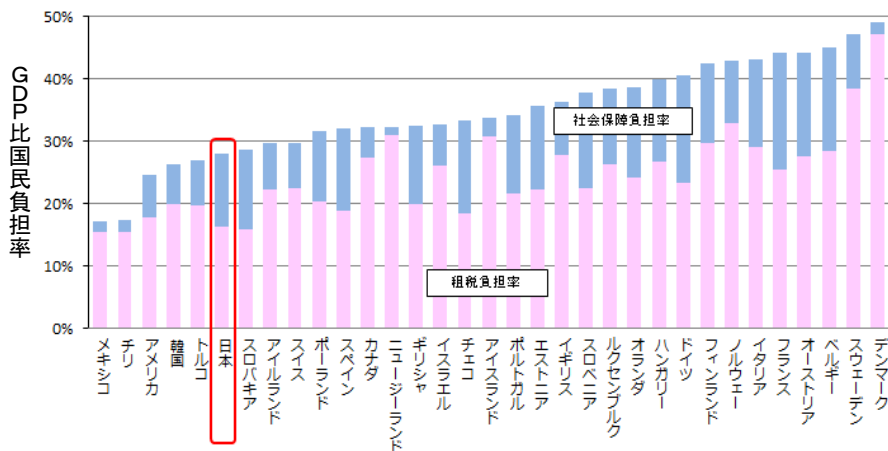
※次ページの資料も参考にしてください。



## 資料①：日本の税金や社会保険料は高い？低い？

### GDP比国民負担率（2009年）

国の経済規模の大きさに比べて、国民の税金や社会保険料の負担がどの程度かを見る資料です。



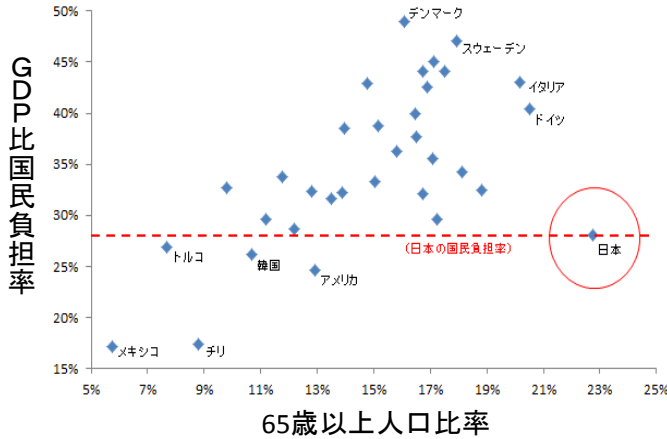
※日本の国民負担率(税金や社会保険料の水準)は国際的に見て低いといえます。



## 資料②：日本の税金や社会保険料は高い？低い？

### 高齢化率とGDP比国民負担率（2009年）

国民負担率の大きさと65歳以上の人口比率を基準にして、各国の位置を比較できるようにした資料です。



お年寄りは年金や介護、医療費など、社会保障の受給が多くなります。

日本は、世界でもお年寄りの比率が最も高い国ですが（注）、負担率はそれほど大きくありません。

（注）WHO（世界保健機関）によるWHO加盟194カ国を対象とした統計で、日本は最も高齢者（60歳以上）の割合が高いとされている。 出所：World Health Organization(2013) “World Health Statistics 2013”

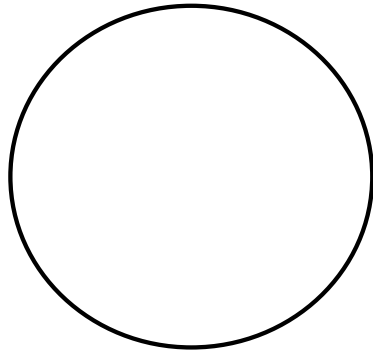
## 社会保障は誰が負担するのか？

※F、M、Gは、それぞれ「家庭」、「市場」、「政府」が提供する福祉サービスです。福祉ニーズの量は、国によってそれほど変わるものではありませんが、家庭(F)、市場(M)、政府(G)のどこで福祉のニーズを満たしているかは、国によって大きく違ってきます。それぞれの国の人々がどんな社会にしたいか映し出しているといえます。

	<b>家族（F）依存型</b> ○国民負担率は低い ○家庭内で子育てや介護といった福祉のニーズを満たすため、それを主に担う女性の負担が大きい社会	▶ 日本型
	<b>政府（G）依存型</b> ○国民負担率は高い ○政府が福祉のニーズを満たしてくれるため、福祉サービスを誰もが比較的平等に利用できる社会	▶ スウェーデン型
	<b>市場（M）依存型</b> ○国民負担率は低い ○福祉サービスを市場から購入することになるため、個人の所得に応じて福祉サービスの利用に大きな格差が生まれる社会（高所得者は超豪華なサービスを利用できるが、低所得者はサービスを利用できないこともある）	▶ アメリカ型

## 考えてみよう！②

Q:これまでの学習を踏まえて、将来の日本ではどのように社会保障を負担すべきと考えますか？あなたが考えるベストな「F、M、G」の負担の割合を前のページのように、下の円に書いてみてください。



※F、M、Gの中身もよく考えてみよう。

**F(家族)中心**  
⇒お金はかからないけど家族で祖父母や父母のケアが必要、、、

**M(市場)中心**  
⇒保険に入るかどうかは自分次第。でも入れない人は、、、

**G(政府)中心**  
⇒公平だけど、毎月の税金・保険料の負担が、、、

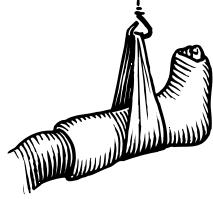
## おわりに

**最後に、もう一回アンケート②に答えてください。**

# ルネサンス高等学校



**アキレス腱を切っちゃった！**



**手術 + 1週間入院 + 通院治療3ヶ月**



**約35万円**



**60歳以上無職夫婦の1ヶ月あたりの最低生活費**

**約22万円**

年あたりにすると約264万円

**60歳以上無職単身者の1ヶ月あたりの最低生活費**

**約14万円**

年あたりにすると約168万円



参考資料: 総務省「家計調査報告」/平成23年平均速報

**高額な医療費に  
老後も必要な生活費…**



**みなさんは  
どう乗りきる！？**

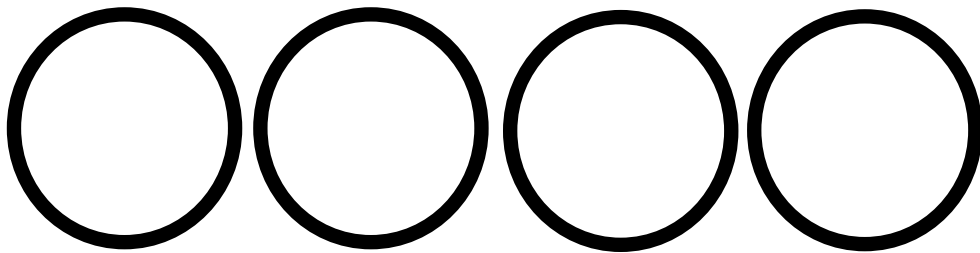
**『あなたの「もしも」と  
「これから」は大丈夫？』**

**大丈夫だと思う？  
それとも不安？**



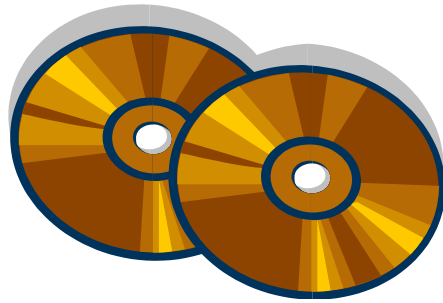
ところで。

人々が困った状態になった時に  
手を差し伸べる政策を何とい  
うでしょうか？



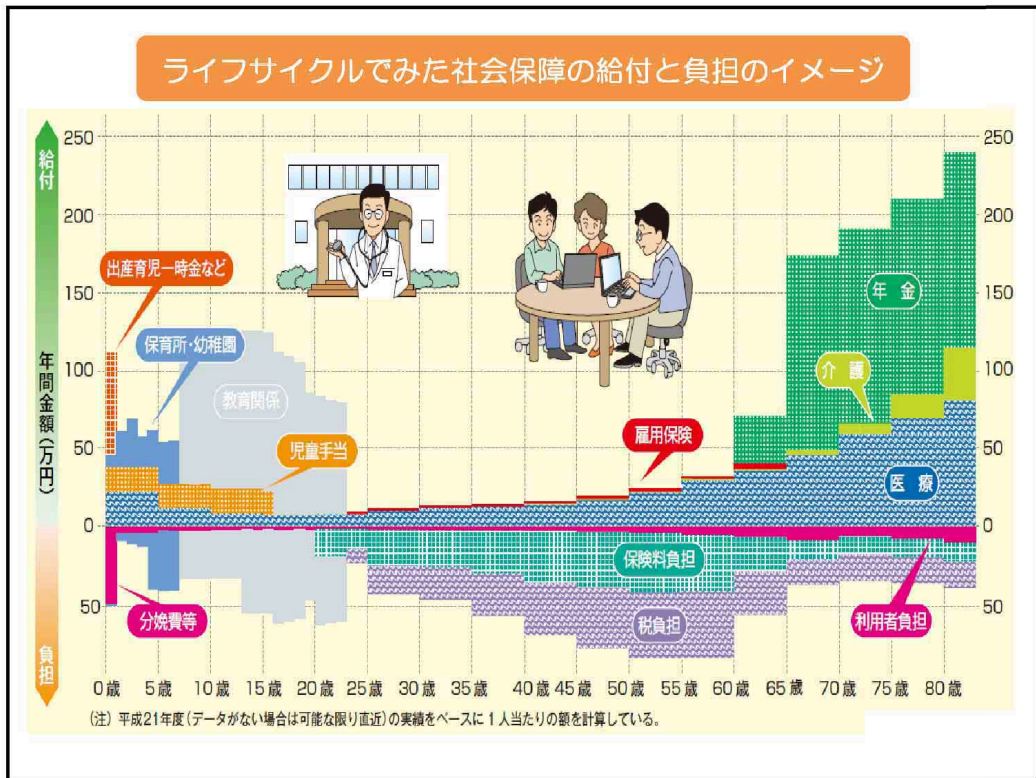
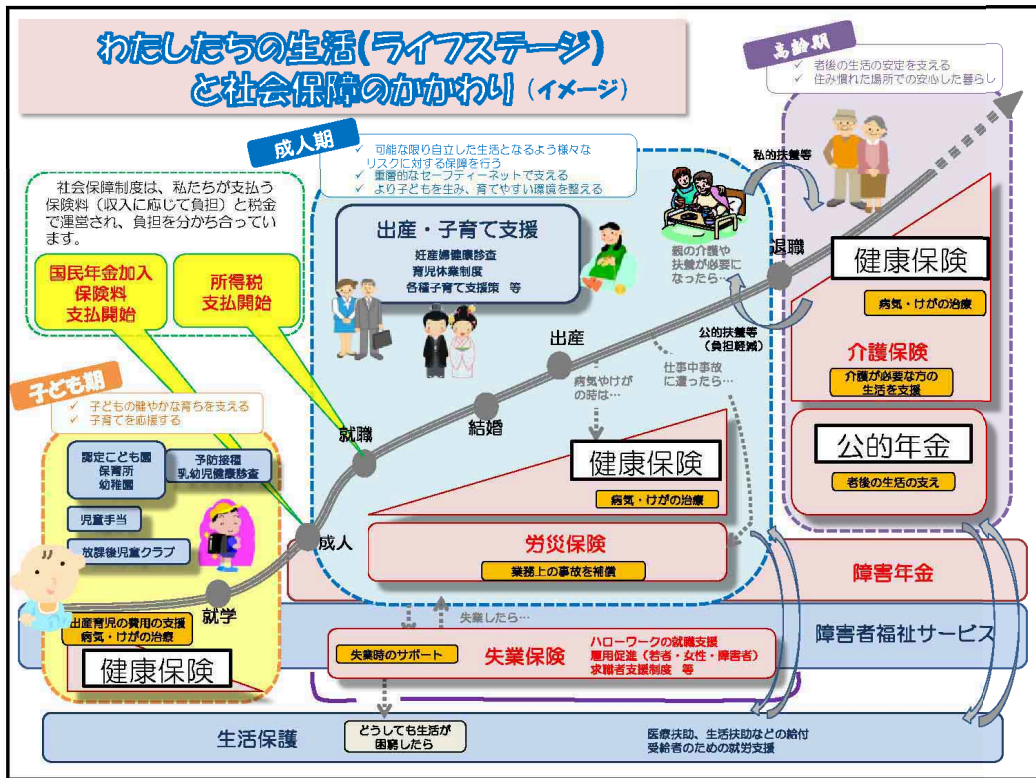
クイズを  
解いてみよう！

**DVDを  
観てみよう！**



**日本の社会保障制度  
について知ろう**





## 年金のしくみの基礎知識

「国民年金」を例にとり、社会保障に必要なお金をどのように集めて、どのように配分しているのかを見てみましょう。



### 保険料を払い始める時期は？

大学に進学する場合 → 20歳から国民年金に加入することになります。

中学や高校を卒業して就職する場合 → 勤め先で厚生年金に加入することになります。(給料から天引きされます)

### どうしても払えない時は？

国民年金の保険料の納付が免除・猶予される制度があります。ただし、申請が必要です。

1. 学生で本人の前年所得が一定額以下の場合、保険料の納付が猶予されます。(学生納付特例制度)
2. 所得が一定額以下の場合に保険料が免除となる制度があります。

### 【免除の対象となる所得のめやす】(2012年度)

世帯構成	全額免除 若年者猶予	3/4 免除	半額免除 学生特例	1/4 免除
4人世帯 (夫婦+子2人)	162万円	230万円	282万円	335万円
2人世帯 (夫婦のみ)	92万円	142万円	195万円	247万円
単身世帯	57万円	93万円	141万円	189万円

※収入から各種控除した後の所得ベース

## 年金と貯蓄を比べてみましょう！

### 老後に備えて貯蓄しても…

人は、何歳まで生きるかは予測できない。  
(どれだけ貯蓄をすればよいのかわからない)

50年後の物価や賃金の変動は予測できない。  
(貯蓄しても、将来目減りするかもしれない)

いつ、障害を負ったり、小さな子どもがいる時に  
配偶者を亡くす(=所得を失う)かわからない。

### 公的年金なら…

**終身(亡くなるまで)**で受給できる

**実質的な価値を保障された**年金を受給できる

**障害年金・遺族年金**を受給できる

私たちは自分がどれくらい長生きするかわかりません。また、50年後の生活水準を予測することもできません。老後に備えて貯蓄をすることは大事なことです。長い人生には、自分1人では対応できないこともあります。公的年金があるのは、こうしたリスクへ社会全体で備える必要があるからです。

### ※参考：昔と今の物の値段の比較

	うどん1杯	カレー1皿	食パン1kg	コーヒー1杯
1965年	54円	105円	95円	72円
↓				
2010年	595円	742円	438円	411円

# グループで話し合ってみよう!

# 1

## 就職後の生活と社会保障

次に出てくるA君、Bさん、C君は、それぞれ高校卒業後、就職して一人暮らしを始めました。3人とも月々の給料は157,000円です。

A君は「節約型」、Bさんは「普通型」、C君は「贅沢型」の生活をしています。それぞれの家計の状況を見てみましょう。



A君

将来やりたいことがあるんだ！  
無駄遣いはしないよ！

A君の家計

費目	支出
家賃	50,000
食費	25,000
水道・光熱費	6,000
携帯等通信費	3,500
娯楽費	14,500
税・社会保険料	28,000
預貯金その他	30,000
合計	157,000



Bさん

無駄遣いはしないようにしてるけど、なかなか貯金できないわね。

Bさんの家計

費 目	支 出
家 賃	65,000
食 費	30,000
水道・光熱費	10,000
携帯等通信費	8,000
娯 楽 費	16,000
税・社会保険料	28,000
預貯金その他	0
合 計	157,000



C君

とまあ、いましかできないことがあるし。保険や年金は払えないよ。

C君の家計

費 目	支 出
家 賃	75,000
食 費	40,000
水道・光熱費	15,000
携帯等通信費	10,000
娯 楽 費	17,000
税・社会保険料	0
預貯金その他	0
合 計	157,000

## みんなで考えてみよう！

1. A君、Bさん、C君が、それぞれ次の状況に直面しました。どう対処したらいいと思いますか？

- ① 病気にかかり1週間入院が必要になった。その際、病院で医療費が合計で10万円かかると言われた。

A君：  
Bさん：  
C君：

**ヒント**  
健康保険に加入していると…

- ② 就職した会社が倒産して失業してしまい、次の仕事を探すまで3ヶ月かかった。

A君：  
Bさん：  
C君：

**ヒント**  
失業した場合の公的保険は…

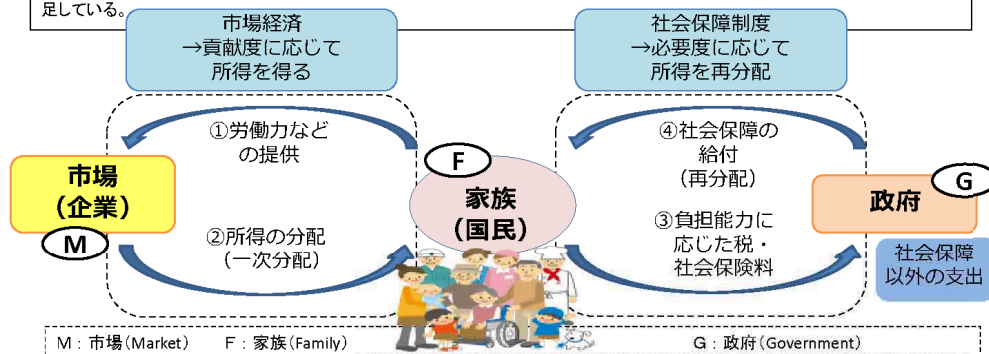
2. 病気や障害などやむを得ない理由で自力で生活することが困難な人は、どうするべきと思いますか？

# グループで話し合ってみよう！

# 2

## 「社会保障制度」の果たす役割。

憲法第25条で「生存権」が規定されて以降、日本の社会保障制度は大きく発展し、様々な仕組みが整備されてきた。その中心は、主に**社会保険料**を財源とする「社会保険」であり、**税金**を財源とする「社会福祉」や「公的扶助」、「公衆衛生」などがそれを補足している。



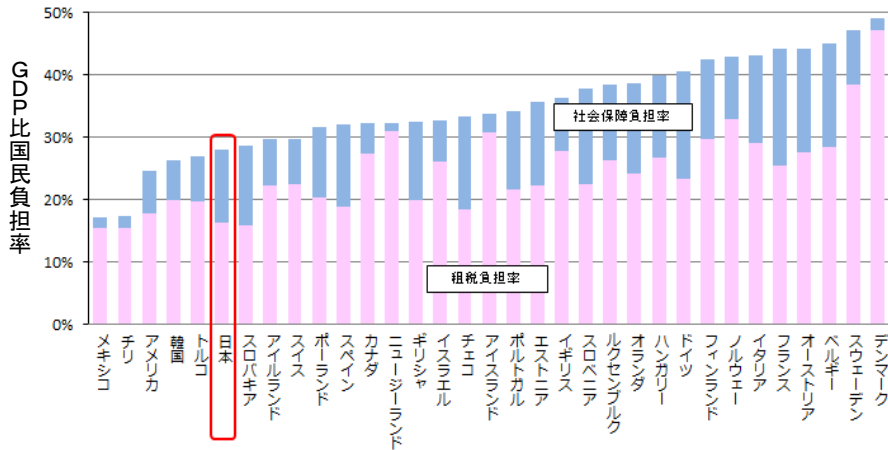
社会保障制度は、私たちが市場での貢献度に応じて得た所得を、必要度に応じて修正する『所得の再分配機能』を果たしている。

- 経済的なサポート・援助が必要な時のために、あらかじめみんなで出し合った税・社会保険料を基にして社会的に備えておく仕組みがあるので、私たちは安心して毎日の仕事や生活に全力を尽くすことができる。
- 社会保障制度は、所得の低い人に対して所得の移転を通じて生活を保障したり、病気やけが、障害や高齢により、生活上の困難を抱えたときに、それを乗り越えるのに必要な専門的なサービスや生活費を保障している。
- このようにして、私たちは同じ社会の一員としてお互いに支えあっているのである。

## 資料①：日本の税金や社会保険料は高い？低い？

### GDP比国民負担率（2009年）

国の経済規模の大きさに比べて、国民の税金や社会保険料の負担がどの程度かを見る資料です。

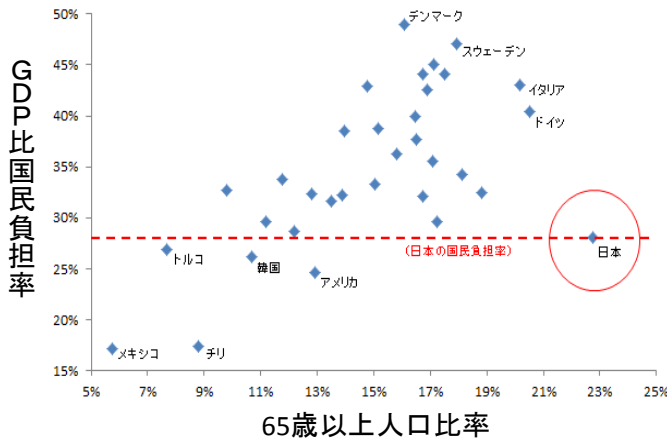


※日本の国民負担率(税金や社会保険料の水準)は国際的に見て低いといえます。

## 資料②：日本の税金や社会保険料は高い？低い？

### 高齢化率とGDP比国民負担率（2009年）

国民負担率の大きさと65歳以上の人口比率を基準にして、各国の位置を比較できるようにした資料です。



お年寄りは年金や介護、医療費など、社会保障の受給が多くなります。

日本は、世界でもお年寄りの比率が最も高い国ですが(注)、負担率はそれほど大きくありません。

(注) WHO(世界保健機関)によるWHO加盟194カ国を対象とした統計で、日本は最も高齢者(60歳以上)の割合が高いとされている。 出所: World Health Organization(2013) "World Health Statistics 2013"

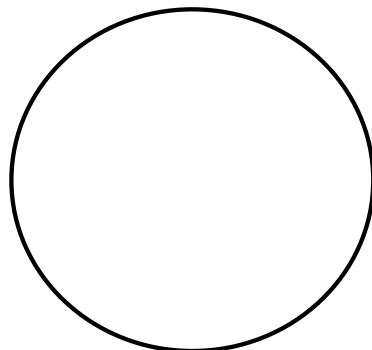
## 社会保障は誰が負担するのか？

※F、M、Gは、それぞれ「家庭」、「市場」、「政府」が提供する福祉サービスです。福祉ニーズの量は、国によってそれほど変わるものではありませんが、家庭(F)、市場(M)、政府(G)のどこで福祉のニーズを満たしているかは、国によって大きく違っています。それぞれの国の人々がどんな社会にしたいか映し出しているといえます。

	<p><b>家族 (F) 依存型</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国民負担率は低い</li> <li>○家庭内で子育てや介護といった福祉のニーズを満たすため、それを主に担う女性の負担が大きい社会</li> </ul>	▶ 日本型
	<p><b>政府 (G) 依存型</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国民負担率は高い</li> <li>○政府が福祉のニーズを満たしてくれるため、福祉サービスを誰もが比較的平等に利用できる社会</li> </ul>	▶ スウェーデン型
	<p><b>市場 (M) 依存型</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国民負担率は低い</li> <li>○福祉サービスを市場から購入することになるため、個人の所得に応じて福祉サービスの利用に大きな格差が生まれる社会 (高所得者は超豪華なサービスを利用できるが、低所得者はサービスを利用できないこともある)</li> </ul>	▶ アメリカ型

## 考えてみよう！②

Q: これまでの学習を踏まえて、将来の日本ではどのように社会保障を負担すべきと考えますか？あなたが考える最適な「F、M、G」の負担の割合を前のページのように、下の円に書いてみてください。



※F、M、Gの中身もよく考えてみよう。

**F(家族)中心**  
⇒お金がかからないけど家族で祖父母や父母のケアが必要、..

**M(市場)中心**  
⇒保険に入るかどうかは自分次第。でも入れない人は、..

**G(政府)中心**  
⇒公平だけど、毎月の税金・保険料の負担が、...

# 保険ってね…

誰かが経済的に困った  
時に大勢の人から集め  
たお金でその人を救う  
しくみ

みなさんの保険料が  
誰かを救い、  
誰かの保険料がみな  
さんを救う。





**最後に**



**アンケートに回答  
して下さい。**

